授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名① 2 訓読み・送り仮名② 3 熟語① 4 熟語② 5 熟語③ 6 異字同訓・同音異義 7 誤字訂正① 8 誤字訂正②・類義語 9 反対語 10 漢字の意味・使い方① 11 漢字の意味・使い方② 12 項目別模擬試験① 13 項目別模擬試験② 14 直前模擬試験① 15 直前模擬試験②
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	面接時の入退室及び自己ＰＲを習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 面接の基本 2 入退室の仕方 3 スーツの着こなし、身嗜み確認 4 自己ＰＲ作成① 5 自己ＰＲ作成② 6 自己ＰＲ作成③ 7 面接質問項目① 8 面接質問項目② 9 面接質問項目③ 10 業界研究① 11 業界研究② 12 模擬面接練習① 13 模擬面接練習② 14 面接効果測定① 15 面接効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション概論
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	自己分析、自己ＰＲの作成を通じての対人コミュニケーションを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な演習を実施する
達成目標	自己分析、自己ＰＲの完成及び発表を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 自己ＰＲの見直し 2 自己分析の方法・注意点 3 自己分析① 4 自己分析② 5 自己分析③ 6 自己ＰＲの作り方 7 自己ＰＲの作成① 8 自己ＰＲの作成② 9 自己ＰＲの作成③ 10 自己ＰＲの作成④ 11 自己ＰＲの作成⑤ 12 自己ＰＲの修正① 13 自己ＰＲの修正② 14 自己ＰＲ発表（効果測定①） 15 自己ＰＲ発表（効果測定②）
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ実習概論Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	１２０時間
授業コマ数	６０コマ
授業概要	エアロビックダンスと水泳・水中運動の各種特性や効果、運動動作について学ぶ
授業の進め方	実務経験のある教員がより実践的な指導とフィードバックを実施する
達成目標	各種テキストのエアロビクス範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）
特記	フィットネスクラブ等でエアロビクスエクササイズ及びアクアエクササイズやスイミングの指導経験を持つ教員が経験を活かし、エアロビックダンス及び水中運動の知識および各種運動動作等の教育を行う。
授業計画	1 エアロビックダンス（歴史、特性と効果） 2 水泳（水中運動の効果・特性、心拍数と運動強度、安全管理） 3 エアロビックダンス（有酸素性運動の基礎知識） 4 水泳（浮身・ストリームラインの取り方、安全対策） 5 エアロビックダンス（ローインパクトのエアロビックダンス体験） 6 水泳（４泳法の基本的動作の習得①） 7 エアロビックダンス（ロー・ハイインパクトのエアロビックダンス体験） 8 水泳（４泳法の基本的動作の習得②） 9 エアロビックダンス（８ビートの理解） 10 水泳（４泳法の基本的動作の習得③） 11 エアロビックダンス（各ステップの特徴と注意点①） 12 水泳（４泳法の基本的動作の習得④） 13 エアロビックダンス（各ステップの特徴と注意点②） 14 水泳（４泳法の基本的動作の習得⑤） 15 エアロビックダンス（中間考査①） 16 水泳（中間考査①） 17 エアロビックダンス（正しい姿勢と見本①） 18 水泳（４泳法の基本的動作の習得①） 19 エアロビックダンス（正しい姿勢と見本②） 20 水泳（４泳法の基本的動作の習得②） 21 エアロビックダンス（正しい姿勢と見本③） 22 水泳（４泳法の基本的動作の習得③） 23 エアロビックダンス（運動強度①） 24 水泳（４泳法の指導法①） 25 エアロビックダンス（運動強度②） 26 水泳（４泳法の指導法②） 27 エアロビックダンス（期末考査対策①） 28 水泳（期末考査対策①） 29 エアロビックダンス（期末考査①） 30 水泳（期末考査①）
授業計画	31 エアロビックダンス（上肢①） 32 水中運動（アクアエクササイズの基本の動き、アクアエクササイズの歴史と特性・効果） 33 エアロビックダンス（上肢②） 34 水中運動（水中ウォーキングの種類と基本動作） 35 エアロビックダンス（全身①） 36 水中運動（水中ウォーキングの運動強度） 37 エアロビックダンス（全身②） 38 水中運動（水中ウォーキングの脚・手の動き） 39 エアロビックダンス（カウントに合わせたステップ、正しい動き①） 40 水中運動（水中ウォーキングのプログラミング①） 41 エアロビックダンス（カウントに合わせたステップ、正しい動き②） 42 水中運動（水中ウォーキングのプログラミング②） 43 エアロビックダンス（カウントに合わせたステップ、正しい動き③） 44 水中運動（水中ウォーキングの指導法①） 45 エアロビックダンス（中間考査②） 46 水中運動（中間考査②） 47 エアロビックダンス（安全で効果的な楽しいレッスン①） 48 水中運動（水中ウォーキングの指導法②） 49 エアロビックダンス（安全で効果的な楽しいレッスン②） 50 水中運動（水中ウォーキングの指導法③） 51 エアロビックダンス（プログラミング①） 52 水中運動（水中ウォーキングの指導法④） 53 エアロビックダンス（プログラミング②） 54 水中運動（水中ウォーキングの指導法⑤） 55 エアロビックダンス（期末考査対策②） 56 水中運動（期末考査対策②） 57 エアロビックダンス（期末考査②） 58 水中運動（期末考査②） 59 エアロビックダンス（解説） 60 水中運動（解説）
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義・演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	就職活動の筆記試験対策として一般常識問題の対策と傾向を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	就職模擬試験で全国平均点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 筆記試験対策（国語①） 2 筆記試験対策（国語②） 3 筆記試験対策（国語③） 4 筆記試験対策（国語④） 5 筆記試験対策（国語⑤） 6 筆記試験対策（数学①） 7 筆記試験対策（数学②） 8 筆記試験対策（数学③） 9 筆記試験対策（数学④） 10 筆記試験対策（数学⑤） 11 筆記試験対策（英語①） 12 筆記試験対策（英語②） 13 筆記試験対策（英語③） 14 筆記試験対策（社会①） 15 筆記試験対策（社会②）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義・演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	就職活動の筆記試験対策としてＳＰＩ試験の傾向を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	マイナビＷｅｂ模擬試験で全国平均点以上を目標とする
教科書	マイナビテキスト（言語・非言語）
特記	
授業計画	1 筆記試験対策（言語①） 2 筆記試験対策（言語②） 3 筆記試験対策（言語③） 4 筆記試験対策（言語④） 5 筆記試験対策（言語⑤） 6 筆記試験対策（非言語①） 7 筆記試験対策（非言語②） 8 筆記試験対策（非言語③） 9 筆記試験対策（非言語④） 10 筆記試験対策（非言語⑤） 11 筆記試験対策（非言語⑥） 12 筆記試験対策（非言語⑦） 13 筆記試験対策（非言語⑧） 14 筆記試験対策（非言語⑨） 15 筆記試験対策（非言語⑩）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義・演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	本番を想定した面接練習を行い、対応力を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技演習を実施する
達成目標	様々な面接で対応できる技術を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 集団面接の基本 2 集団面接練習① 3 集団面接練習② 4 効果測定① 5 集団討論の基本 6 集団討論練習① 7 集団討論練習② 8 効果測定② 9 個人面接の基本 10 個人面接練習① 11 個人面接練習② 12 効果測定③ 13 書類送付方法 14 ビジネス電話 15 ビジネスメール
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ栄養学
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	身体活動・運動に対する各栄養素の役割及び活動中のエネルギー代謝を学ぶ
授業の進め方	実務経験のある教員がより専門的な講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要な栄養学範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	アスリートや特定保健指導の対象者等への、食事計画の立案や栄養指導等の実務経験を持つ教員が経験を活かし、栄養に関する知識および食事指導等の教育を行う。
授業計画	1 五大栄養素の役割① 2 五大栄養素の役割② 3 五大栄養素の役割③ 4 五大栄養素の役割④ 5 食物の消化・吸収、食物選択のためのガイド 6 中間考査対策① 7 中間考査① 8 身体組成とエネルギー代謝① 9 身体組成とエネルギー代謝② 10 スポーツ栄養マネジメント 11 種目特性の分類と食事 12 トレーニングスケジュールと食事 13 グリコーゲン補給と回復のための食事、水分補給① 14 グリコーゲン補給と回復のための食事、水分補給② 15 期末考査① 16 栄養・食事計画の立案 17 目的別の食事管理 18 栄養サポートと栄養教育の実践 19 運動時におけるエネルギー源、エネルギー消費量の推定法 20 適切な減量計画 21 中間考査対策② 22 中間考査② 23 健康日本２１における具体的な目標 24 日本人の食事摂取基準 25 食事バランスガイド 26 食事バランスガイドを活用した食事指導 27 食育について① 28 食育について② 29 期末考査② 30 解説、サプリメントの摂取方法
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	解剖学Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	運動器の骨、筋、靭帯、関節の機能を学ぶ
授業の進め方	実務経験のある教員がより専門的な講義と問題演習を実施する
達成目標	整形外科的範囲内の機能解剖学の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）、ボディナビゲーション
特記	鍼灸院や整骨院等で運動機能障害を持つ患者に治療やリハビリテーション等の施術経験を持つ教員が経験を活かし、身体のあらゆる機能について教育を行う。
授業計画	1 上肢（骨①） 2 上肢（骨②） 3 上肢（関節①） 4 上肢（関節②） 5 上肢（筋肉①） 6 上肢（筋肉②） 7 中間考査対策① 8 中間考査① 9 脊柱の基本構造 10 脊柱と胸郭（骨①） 11 脊柱と胸郭（骨②） 12 脊柱と胸郭（関節①） 13 脊柱と胸郭（関節②） 14 期末考査対策① 15 期末考査① 16 関節の運動を表わす用語 17 下肢（骨①） 18 下肢（骨②） 19 下肢（関節①） 20 下肢（関節②） 21 下肢（関節③） 22 中間考査対策② 23 中間考査② 24 下肢（筋肉①） 25 下肢（筋肉②） 26 下肢（筋肉③） 27 下肢（筋肉④） 28 下肢（筋肉⑤） 29 期末考査対策② 30 期末考査②
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	救急処置
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義・実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	運動実施中に発生しうる救急疾病や外科的損傷の病態を学ぶ
授業の進め方	実務経験のある教員がより実践的な指導とフィードバックを実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要な救急処置範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）、ボディナビゲーション
特記	鍼灸院や整骨院等で運動機能障害を持つ患者に治療やリハビリテーション等の施術経験を持つ教員が経験を活かし、身体のあらゆる機能について教育を行う。
授業計画	1 救急処置法① 2 救急処置法② 3 救急処置法③ 4 テーピング総論 5 テーピング（足関節①） 6 テーピング（足関節②） 7 テーピング（足関節③） 8 テーピング（足関節④） 9 中間考査（筆記） 10 中間考査（実技①） 11 テーピング（膝関節①） 12 テーピング（膝関節②） 13 テーピング（膝関節③） 14 テーピング（膝関節④） 15 テーピング（膝関節⑤） 16 テーピング（下腿①） 17 テーピング（下腿②） 18 期末考査（実技①） 19 マッサージ（下肢①） 20 マッサージ（下肢②） 21 マッサージ（下肢③） 22 マッサージ（下肢④） 23 中間考査（実技②） 24 マッサージ（上肢①） 25 マッサージ（上肢②） 26 マッサージ（上肢③） 27 マッサージ（上肢④） 28 マッサージ（上肢⑤） 29 マッサージ（全身） 30 期末考査（実技②）
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ｉ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	目的に応じたトレーニング方法と効果を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技を行う
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要なトレーニング学範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	1 健康づくりとレジスタンスエクササイズ、レジスタンス運動の分類 2 アイソトニックトレーニングの実際① 3 アイソトニックトレーニングの実際② 4 アイソメトリックトレーニングの実際 5 サーキットトレーニング 6 筋力トレーニングの効果 7 筋力トレーニングのプログラムの条件設定① 8 筋力トレーニングのプログラムの条件設定② 9 中間考査① 10 筋力トレーニングの実際① 11 筋力トレーニングの実際② 12 筋力トレーニングの実際③ 13 筋力トレーニングの実際④ 14 期末考査① 15 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成① 16 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成② 17 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成③ 18 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成④ 19 パワー向上トレーニングの実際（パワークリーン） 20 パワー向上トレーニングの実際（ダンベルパワークリーン） 21 パワー向上トレーニングの実際（スナッチ） 22 パワー向上トレーニングの実際（ジャーク、ＳＱジャンプ） 23 中間考査② 24 パワー向上トレーニングの実際（プライオメトリクス①） 25 パワー向上トレーニングの実際（プライオメトリクス②） 26 パワー向上トレーニングの実際（プライオメトリクス③） 27 パワー向上トレーニングの実際（プライオメトリクス④） 28 パワー向上トレーニングの実際（プライオメトリクス⑤） 29 期末考査② 30 解説
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	運動生理学Ｉ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	運動の発現の仕組み、発現に対しての筋の役割、呼吸循環系を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要な運動生理学範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 運動の発現 2 骨格筋収縮の仕組みとエネルギー供給機構① 3 骨格筋収縮の仕組みとエネルギー供給機構② 4 筋線維タイプと収縮特性、運動と筋線維タイプ 5 筋収縮の様式と筋力、トレーニングと骨格筋 6 中間考査対策① 7 中間考査① 8 運動の持続と呼吸循環系① 9 運動の持続と呼吸循環系② 10 呼吸循環系の機能の指標と調節機構 11 運動に伴う呼吸循環機能の変化 12 運動時の酸素利用① 13 運動時の酸素利用② 14 期末考査対策① 15 期末考査① 16 トレーニングによる呼吸循環系の適応 17 運動と血液・体液 18 成長期における体力・基本的動作スキルの発達 19 成人以降の加齢に伴う体力・運動能力の低下、体力に及ぼす先天的要因と後天的要因 20 中間考査対策② 21 中間考査② 22 呼吸循環系の基礎的情報① 23 呼吸循環系の基礎的情報② 24 運動と呼吸循環系① 25 運動と呼吸循環系② 26 トレーニングと呼吸循環系① 27 トレーニングと呼吸循環系② 28 期末考査対策② 29 期末考査② 30 解説
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ心理学Ｉ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	運動実践が心身に与える影響、個別指導における動機づけとカウンセリングの方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要な心理学的基礎の範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 運動実践にかかわる社会・心理・環境的要因 2 運動実践によって得られる心理社会的効果の内容とその効果を高める要因 3 運動を採択、継続、および停止を予防するために適用されている行動への理論① 4 運動を採択、継続、および停止を予防するために適用されている行動への理論② 5 募集に際して要因を明確にし、多くの参加者を得るための留意点 6 中間考査対策 7 中間考査 8 指導と受講のミスマッチと解決方法 9 個別指導における動機づけとカウンセリングの方法① 10 個別指導における動機づけとカウンセリングの方法② 11 一般人の健康増進への活用① 12 一般人の健康増進への活用② 13 一般人の健康増進への活用③ 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	発育発達論
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	体力と発育・発達と老化の関係について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要な発育発達範囲の知識を習得する
教科書	子どもの発育・発達と健康、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 イントロダクション 2 発育発達研究の基礎 3 出産と新生児 4 乳幼児の運動能力の発達① 5 乳幼児の運動能力の発達② 6 幼児の運動能力① 7 中間考査① 8 幼児の運動能力② 9 体力の構造と測定① 10 体力の構造と測定② 11 形態の発育① 12 形態の発育② 13 期末考査対策① 14 期末考査① 15 機能の発達① 16 機能の発達② 17 機能の発達③ 18 運動能力構造の変化① 19 運動能力構造の変化② 20 身体発達に影響する要因と問題 21 中間考査② 22 生活習慣病 23 現代の健康問題① 24 現代の健康問題② 25 老化① 26 老化② 27 運動指導の科学① 28 運動指導の科学② 29 期末考査対策② 30 期末考査②
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ社会学
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会生活とスポーツの関連性を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	生涯スポーツの知識を習得する
教科書	生涯スポーツ実践論
特記	
授業計画	1 数字で見る日本のスポーツ 2 生涯スポーツ社会を目指して① 3 生涯スポーツ社会を目指して② 4 生涯スポーツとヘルスプロモーション 5 地域社会と生涯スポーツイベント 6 生涯スポーツ指導者とボランティア① 7 中間考査 8 生涯スポーツ指導者とボランティア② 9 高齢者のスポーツ参加 10 障がい者のスポーツ参加 11 生涯スポーツとニュースポーツ 12 スポーツクラブの現状と課題 13 スポーツクラブの運営 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	グループエクササイズ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	フィットネスインストラクターとして必要な基礎知識について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	ＪＡＦＡ-ＧＦＩ共通筆記資格試験合格を目標とする
教科書	フィットネス基礎理論、グループエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 イントロダクション 2 フィットネス概論 3 運動器の基礎解剖学① 4 運動器の基礎解剖学② 5 運動器の基礎解剖学③ 6 運動生理学① 7 運動生理学② 8 運動生理学③ 9 中間考査対策① 10 中間考査① 11 体力学・トレーニング科学・運動処方① 12 体力学・トレーニング科学・運動処方② 13 体力学・トレーニング科学・運動処方③ 14 運動と栄養・体重管理① 15 運動と栄養・体重管理② 16 心と心理 17 運動と安全管理、事故・傷害の予防 18 期末考査① 19 グループエクササイズ① 20 グループエクササイズ② 21 グループエクササイズ③ 22 グループエクササイズ④ 23 中間考査対策② 24 中間考査② 25 対策問題演習① 26 対策問題演習② 27 対策問題演習③ 28 対策問題演習④ 29 対策問題演習⑤ 30 期末考査②
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	レジスタンスエクササイズ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義・実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	自重トレーニングのグループレッスンに必要な知識と実技スキルを学ぶ
授業の進め方	筆記試験と実技試験の対策指導を実施する
達成目標	ＪＡＦＡ－ＧＦＩ　ＲＥＩ資格試験合格を目標とする
教科書	レジスタンスエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 骨格筋の機能解剖学（筆記） 2 レジスタンスエクササイズの基本の動き（筆記） 3 レジスタンスエクササイズの基本の動き（実技①） 4 レジスタンスエクササイズの基本の動き（実技②） 5 レジスタンスエクササイズの基本の動き（実技③） 6 中間考査（実技） 7 骨格筋の解剖生理学（筆記） 8 レジスタンスエクササイズの基礎知識（筆記①） 9 レジスタンスエクササイズの基礎知識（筆記②） 10 レジスタンスエクササイズのインストラクション（実技①） 11 レジスタンスエクササイズのインストラクション（実技②） 12 レジスタンスエクササイズのインストラクション（実技③） 13 レジスタンスエクササイズのインストラクション（実技④） 14 期末考査（筆記） 15 期末考査（実技）
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ストレッチングエクササイズ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義・実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ストレッチングのグループレッスンに必要な知識と実技スキルを学ぶ
授業の進め方	筆記試験と実技試験の対策指導を実施する
達成目標	ＪＡＦＡ－ＧＦＩ　ＳＥＩ資格試験合格を目標とする
教科書	ストレッチングエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 ストレッチング（実技①） 2 ストレッチング（実技②） 3 ストレッチングエクササイズの基本の動き（筆記） 4 ストレッチングエクササイズの基本の動き（実技①） 5 ストレッチングエクササイズの基本の動き（実技②） 6 中間考査（実技） 7 骨格筋の解剖生理学（筆記） 8 ストレッチングエクササイズの基礎知識（筆記①） 9 ストレッチングエクササイズの基礎知識（筆記②） 10 ストレッチングエクササイズのインストラクション（実技①） 11 ストレッチングエクササイズのインストラクション（実技②） 12 ストレッチングエクササイズのインストラクション（実技③） 13 ストレッチングエクササイズのインストラクション（実技④） 14 期末考査（筆記） 15 期末考査（実技）
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ダイビング実習
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ダイビングの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ
授業の進め方	筆記試験と実技試験の対策指導を実施する
達成目標	ＰＡＤＩオープン・ウォーター・ダイバー資格試験合格を目標とする
教科書	オープンウォーターダイバーマニュアル
特記	
授業計画	1 ダイバーに必要な基礎知識（水圧と空気の体積の影響） 2 ダイバーに必要な基礎知識（水中でのものの見え方・音の聞こえ方） 3 ダイバーに必要な基礎知識（ダイビングの環境） 4 ダイバーに必要な基礎知識（ダイビングと健康管理） 5 トラブルの管理 6 器材について（選び方と手入れ） 7 器材について（ウェット／ドライスーツ・水面シグナル器材） 8 基礎知識と器材についての復習 9 ダイバーとしてのスキル（スクーバキットのセッティング） 10 ダイバーとしてのスキル（マスククリア・マスク脱着） 11 ダイバーとしてのスキル（中性浮力） 12 ダイバーとしてのスキル（潜降と浮上・ハンドシグナル） 13 ダイバーとしてのスキル（緊急時の対処法） 14 ダイブコンピューターとテーブルの使い方 15 実技試験
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャンプ実習
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	キャンプインストラクターの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ
授業の進め方	筆記試験と実技試験の対策指導を実施する
達成目標	キャンプインストラクター資格試験合格を目標とする
教科書	キャンプ指導者入門
特記	
授業計画	1 キャンプの特性（キャンプの意義と目的） 2 キャンプの特性（キャンプのルールとマナー） 3 キャンプの特性（キャンプと環境教育） 4 キャンプの対象（人間の心身の理解） 5 キャンプの対象（自然環境の理解） 6 キャンプの指導（キャンプインストラクターの資質と役割） 7 キャンプの指導（指導者のためのコミュニケーションスキル） 8 キャンプの安全についての危険予知とその対処 9 キャンプの基本装備（個人装備と団体装備） 10 キャンプに必要な生活技術（テント設営） 11 キャンプに必要な生活技術（アウトドアクッキング） 12 キャンプに必要な生活技術（ロープワーク） 13 キャンプで行う４つのアクティビティ 14 実技試験① 15 実技試験②
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スキー基礎技術論
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	スキーの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ
授業の進め方	実技試験の対策指導を実施する
達成目標	バッジテスト５級以上の合格を目標とする
教科書	なし
特記	
授業計画	1 スキーの現状 2 器具の選び方、セッティングと着用方法 3 基本姿勢（ボーゲン）と開脚歩行 4 停止と安全な転び方 5 スキーにおける身体の使い方 6 プルークボーゲンでの滑走（基礎） 7 プルークボーゲンでの滑走（応用） 8 ターン基礎（緩斜面でのパラレルターン） 9 ターン基礎（緩斜面でのシュテムターン） 10 ターン応用（中斜面でのパラレルターン） 11 ターン応用（中斜面でのシュテムターン） 12 ターン応用（中急斜面でのパラレルターン） 13 スキーヤーとしてのルールとマナー 14 実技試験① 15 実技試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スノーボード基礎技術論
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	スノーボードの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ
授業の進め方	実技試験の対策指導を実施する
達成目標	バッジテスト５級以上の合格を目標とする
教科書	なし
特記	
授業計画	1 スノーボードの現状 2 セッティングと着用方法、スタンスの確認 3 基本姿勢 4 体重のかけ方 5 安全な転び方 6 スケーティング基礎 7 スケーティングでの方向転換 8 ターンにおける身体の使い方（上半身・下半身） 9 ターン基礎（緩斜面での停止・連続ターン） 10 ターン基礎（緩斜面でのロングターン・ミドルターン） 11 ターン応用（中斜面でのショートターン・カービングターンロング） 12 ターン応用（中斜面でのカービングターンショート・ベーシックカーブロング） 13 スノーボーダーにおけるルールとマナー 14 実技試験① 15 実技試験②
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング理論
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	トレーニング機器の特性や機能を理解し、トレーニングプログラムの知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	目的に応じたトレーニングメニューの作成方法を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 有酸素性運動（プログラミング） 2 有酸素性運動（プログラムの進行） 3 有酸素性運動（機器を用いない有酸素性運動の指導上の留意点） 4 有酸素性運動（有酸素性運動の選択と指導上の留意点） 5 レジスタンス運動（安全性と効果） 6 レジスタンス運動（負荷設定法、負荷強度、反復回数） 7 レジスタンス運動（レジスタンス運動の種類） 8 レジスタンス運動（レジスタンス運動の方法） 9 ケーススタディによるプログラム作成① 10 ケーススタディによるプログラム作成② 11 ケーススタディによるプログラム作成③ 12 ケーススタディによるプログラム作成④ 13 ケーススタディによるプログラム作成⑤ 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	運動指導者に必要な筋力トレーニングの方法を学ぶ
授業の進め方	レジスタンストレーニング（基礎）の種類や効果を理解し、実施する
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキスト記載のトレーニング方法の技術を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス（レジスタンス運動の分類、アイソトニックトレーニングの実際） 2 フリーウエイトトレーニング① 3 フリーウエイトトレーニング② 4 フリーウエイトトレーニング③ 5 アイソメトリックトレーニング① 6 アイソメトリックトレーニング② 7 アイソメトリックトレーニング③ 8 自重や身近な用具を使ったトレーニング① 9 自重や身近な用具を使ったトレーニング② 10 自重や身近な用具を使ったトレーニング③ 11 サーキットトレーニング 12 レジスタンストレーニングプログラミングの基礎① 13 レジスタンストレーニングプログラミングの基礎② 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	パーソナルトレーニングを行う運動指導者に必要なトレーニングスキル・テクニックを学ぶ
授業の進め方	パーソナルトレーニングの種類や効果を理解し、実施する
達成目標	トレーニング指導に必要なスキル（ペアストレッチ、トレーニング補助法）を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス（マンツーマン指導とグループ指導の違いについて） 2 パーソナルトレーニングの補助テクニック① 3 パーソナルトレーニングの補助テクニック② 4 パーソナルトレーニングの補助テクニック③ 5 パーソナルストレッチ基礎① 6 パーソナルストレッチ基礎② 7 パーソナルストレッチ基礎③ 8 自体重トレーニングの補助法・負荷法① 9 自体重トレーニングの補助法・負荷法② 10 自体重トレーニングの補助法・負荷法③ 11 ウォームアップとクールダウン 12 パーソナルトレーニングのプログラミング基礎 13 パーソナルトレーニングのプログラミング応用 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	運動指導者に必要なトレーニングルームの管理、運営、指導方法を実践を通じて学ぶ
授業の進め方	レジスタンストレーニング（応用）の種類や効果を理解し、実施する
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキスト記載のトレーニング方法の技術を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス（トレーニングルームの特徴、マシン指導法、補助法） 2 フリーウエイトトレーニング指導・補助法① 3 フリーウエイトトレーニング指導・補助法② 4 フリーウエイトトレーニング指導・補助法③ 5 アイソメトリックトレーニング指導・補助法① 6 アイソメトリックトレーニング指導・補助法② 7 アイソメトリックトレーニング指導・補助法③ 8 自重や身近な用具を使ったトレーニング指導・補助法① 9 自重や身近な用具を使ったトレーニング指導・補助法② 10 サーキットトレーニング指導・補助法① 11 サーキットトレーニング指導・補助法② 12 レジスタンストレーニングのプログラミング指導・補助法① 13 レジスタンストレーニングのプログラミング指導・補助法② 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	リハビリテーションⅠ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	評価方法と評価法を活用したアスリハプログラムの作成方法について学ぶ
授業の進め方	リハビリテーションの種類や効果を理解し、実施する
達成目標	基本的なアスリハプログラムを理解し、作成方法を習得する
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	1 アスレティックリハビリテーション概論 2 アスリハにおける評価の流れ（ＲＯＭ検査） 3 アスリハにおける評価の流れ（ＭＭＴ） 4 アスリハにおける評価の流れ（整形外科的テスト） 5 アスリハにおける評価の流れ（触診：上肢） 6 アスリハにおける評価の流れ（触診：下肢） 7 アスリハにおける評価の流れ（触診：脊柱と体幹） 8 アスリハのプログラム作成の実際（治癒過程、物理療法、徒手療法の理解） 9 アスリハのプログラム作成の実際（関節可動域訓練） 10 アスリハのプログラム作成の実際（筋力強化訓練①） 11 アスリハのプログラム作成の実際（筋力強化訓練②） 12 アスリハのプログラム作成の実際（全身持久力、敏捷性、バランス訓練） 13 アスリハのプログラム作成の実際（時期による段階的なアスリハ、１日の流れ） 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	フィットネスマネジメント
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	フィットネスクラブ業界に必要な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	フィットネスクラブ・マネジメント技能検定３級合格を目標とする
教科書	フィットネスクラブマネジメント公式テキスト
特記	
授業計画	1 フィットネス産業① 2 フィットネス産業② 3 健康づくり① 4 健康づくり② 5 運動・トレーニングの基礎① 6 運動・トレーニングの基礎② 7 店舗運営① 8 店舗運営② 9 顧客マネジメント① 10 顧客マネジメント② 11 チームワークとコミュニケーション 12 施設・設備管理の意義と重要性 13 安全衛生、過去問題演習 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	フィットネス実践Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	グループレッスンに必要な知識、実技スキルの活用方法を学ぶ
授業の進め方	グループレッスンの種類や効果を理解し、実施する
達成目標	基礎から応用まで幅広いグループレッスンの運動指導方法を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス（グループレッスンの種類、特徴、基本構成） 2 レッスンプログラミング基礎（ウォームアップとクールダウン） 3 レッスンプログラミング基礎（筋コンディショニング） 4 レッスンプログラミング基礎（その他ツール使用方法） 5 レッスンプログラミング基礎（カウントとキューイング） 6 レッスンプログラミング基礎（モデルレッスン作成） 7 レッスンプログラミング基礎（モデルレッスン実践） 8 特殊な対象への運動指導時の留意点① 9 特殊な対象への運動指導時の留意点② 10 エクササイズ① 11 エクササイズ② 12 エクササイズ③ 13 エクササイズ④ 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	フィットネス実践Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ダンスの基礎、応用技能を学ぶ
授業の進め方	様々なジャンルのダンスを理解し、実施する
達成目標	ダンス大会に出場できる技能を習得する
教科書	なし
特記	
授業計画	1 ガイダンス（ダンスジャンルの紹介、デモレッスン） 2 基本エクササイズ① 3 基本エクササイズ② 4 基本エクササイズ③ 5 基本エクササイズ④ 6 基本エクササイズ⑤ 7 基本エクササイズ⑥ 8 基本エクササイズ⑦ 9 チーム練習① 10 チーム練習② 11 チーム練習③ 12 チーム練習④ 13 チーム練習⑤ 14 チーム練習⑥ 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	幼児体育指導者理論Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	子どもの運動指導に必要とされる発育発達論、幼児体育論、指導プログラムを学ぶ
授業の進め方	筆記試験の対策指導を実施する
達成目標	幼児体育指導者検定２級合格を目標とする
教科書	幼児体育指導者検定公式テキスト　２・３級
特記	
授業計画	1 幼児の発達の様相（発達の一般的傾向） 2 幼児の発達の様相（幼児期における身体的発達の意義） 3 幼児期における「利き手」の発達 4 幼児における動機づけと目標 5 学習の最適期について（レディネス） 6 学習の最適期について（臨界期） 7 運動技能学習の過程（学習曲線） 8 運動技能学習の過程（潜在的学習期） 9 運動技能学習の過程（学習の初期） 10 運動技能学習の過程（高原期と飛躍期） 11 運動技能学習の過程（完成期） 12 学習方法について（全習法） 13 学習方法について（分習法） 14 教育の６原則 15 筆記試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	幼児体育指導者実践
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	運動あそびの面白さや素晴らしさ、体を動かすことの楽しさを伝えられる指導方法を学ぶ
授業の進め方	実技試験の対策指導を実施する
達成目標	幼児体育指導者検定２級合格を目標とする
教科書	幼児体育指導者検定公式テキスト　２・３級
特記	
授業計画	1 実技講習の意義 2 リズム体操（やさい体操①） 3 リズム体操（やさい体操②） 4 マット運動（前転・後転） 5 マット運動（前転・後転の補助） 6 マット運動（ブリッジ実演と補助） 7 ゲームあそび 8 跳び箱（開脚跳び） 9 跳び箱（開脚跳びの横補助・後ろ補助） 10 なわとび（前とび・拍子とび） 11 なわとび（なわの指導法・結び方） 12 ボールを使った指導法 13 基本運動（低い姿勢の運動・立位の運動） 14 基本運動（バランス・体支持の運動） 15 実技試験
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅣ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	就職活動時や就職内定後に必要となる知識を学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義と演習を実施する
達成目標	希望する分野への就職や資格試験合格を目標とする
教科書	プリント
特記	
授業計画	1 スポーツキャリア学習① 2 スポーツキャリア学習② 3 スポーツキャリア学習③ 4 スポーツキャリア学習④ 5 スポーツキャリア学習⑤ 6 スポーツキャリア学習⑥ 7 スポーツキャリア学習⑦ 8 スポーツキャリア学習⑧ 9 スポーツキャリア学習⑨ 10 スポーツキャリア学習⑩ 11 スポーツキャリア学習⑪ 12 スポーツキャリア学習⑫ 13 スポーツキャリア学習⑬ 14 スポーツキャリア学習⑭ 15 スポーツキャリア学習⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインＶ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	就職活動時や就職内定後に必要となる知識を学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義と演習を実施する
達成目標	希望する分野への就職や資格試験合格を目標とする
教科書	プリント
特記	
授業計画	1 スポーツキャリア演習① 2 スポーツキャリア演習② 3 スポーツキャリア演習③ 4 スポーツキャリア演習④ 5 スポーツキャリア演習⑤ 6 スポーツキャリア演習⑥ 7 スポーツキャリア演習⑦ 8 スポーツキャリア演習⑧ 9 スポーツキャリア演習⑨ 10 スポーツキャリア演習⑩ 11 スポーツキャリア演習⑪ 12 スポーツキャリア演習⑫ 13 スポーツキャリア演習⑬ 14 スポーツキャリア演習⑭ 15 スポーツキャリア演習⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	バイオメカニクス
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	力学的視点から運動の仕組みを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要なバイオメカニクス範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 身体運動に関係する筋と骨① 2 身体運動に関係する筋と骨② 3 単関節・多関節運動 4 筋健複合体の弾性要素と弾性エネルギーが利用できる運動様式① 5 筋健複合体の弾性要素と弾性エネルギーが利用できる運動様式② 6 中間考査対策① 7 中間考査① 8 着地衝撃とその緩和法 9 投動作と打動作の共通点 10 運動と流体力① 11 運動と流体力② 12 期末考査対策① 13 期末考査① 14 バイオメカニクスの基礎理論① 15 バイオメカニクスの基礎理論② 16 バイオメカニクスの基礎理論③ 17 バイオメカニクスの基礎理論④ 18 バイオメカニクスの基礎理論⑤ 19 中間考査対策② 20 中間考査② 21 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス① 22 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス② 23 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス③ 24 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス④ 25 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス⑤ 26 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス⑥ 27 問題演習① 28 問題演習② 29 期末考査対策② 30 期末考査②
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ医学Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	急性・慢性傷害の概要とその予防方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要なスポーツ医学（外科）範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 運動中止の判定 2 内科的な急性障害、慢性障害 3 救急処置① 4 救急処置② 5 整形外科的傷害と外科的救急処置 6 中間考査 7 スポーツ傷害とは 8 足部・足関節の傷害 9 下腿部の傷害 10 膝関節の傷害 11 大腿部の傷害 12 腰部の傷害 13 肩関節の傷害 14 肘関節・手関節の傷害 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ医学Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	急性・慢性傷害の概要とその予防方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要なスポーツ医学（内科）範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 生活習慣病予防と身体活動・運動 2 肥満① 3 肥満② 4 糖尿病① 5 糖尿病② 6 中間考査対策 7 中間考査 8 脂質異常症① 9 脂質異常症② 10 高血圧症① 11 高血圧症② 12 問題演習① 13 問題演習② 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	測定評価
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義・実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	各体力構成要素の具体的な測定方法ならびに体力テストの実践と評価について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要な測定評価範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	1 無酸素能力の測定、有酸素能力の測定（実技） 2 最大酸素摂取量の測定、無酸素性閾値 3 体脂肪量の測定（実技） 4 新体力テスト①（実技） 5 新体力テスト②（実技） 6 新体力テスト③ 7 健康づくりのための運動指針２００６、体力テストの評価 8 中間考査 9 トレーニング効果の測定と評価の実際① 10 トレーニング効果の測定と評価の実際② 11 トレーニング効果の測定と評価の実際③ 12 測定データの活用とフィードバック準備① 13 測定データの活用とフィードバック準備② 14 測定データの活用とフィードバック準備③ 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	運動処方
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	対象の違いによる諸条件を考慮した安全かつ効果的な運動プログラムを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要な運動処方範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	1 メディカルチェックについて 2 健康の維持増進のための身体活動基準２０１３、健康づくりのためのトレーニングの原則 3 健康づくりと運動プログラム作成の基礎とポイント 4 ウォーミングアップとクーリングダウン、有酸素運動とその効果 5 レジスタンス運動 6 中間考査 7 トレーニング計画の立案① 8 トレーニング計画の立案② 9 トレーニング計画の立案③ 10 筋力トレーニングのプログラム作成① 11 筋力トレーニングのプログラム作成② 12 筋力トレーニングのプログラム作成③ 13 筋力トレーニングのプログラム作成④ 14 筋力トレーニングのプログラム作成⑤ 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	健康管理概論
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	健康と健康づくりの概念と歴史、わが国の疾病状況とおよび高齢化の現状を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要な健康管理概論範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 健康と健康増進の概念、わが国の現状と健康づくり施策① 2 わが国の現状と健康づくり施策② 3 生活習慣病とメタボリックシンドローム、介護予防について 4 メディカルチェック 5 中間考査対策 6 中間考査 7 体力の概念① 8 体力の概念② 9 体力の要素と体力モデル① 10 体力の要素と体力モデル② 11 体力の個人特性、一般的体力と専門的体力、体力トレーニング 12 問題演習① 13 問題演習② 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ心理学Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	身体活動・運動実践がアスリートの心身に与える影響について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	ＪＡＴＩの試験に必要な運動指導の心理学的基礎範囲の知識を習得する
教科書	トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 運動と心理に関する基礎理論① 2 運動と心理に関する基礎理論② 3 運動と心理に関する基礎理論③ 4 スポーツ選手の競技力向上への活用① 5 スポーツ選手の競技力向上への活用② 6 スポーツ選手の競技力向上への活用③ 7 中間考査対策 8 中間考査 9 問題演習① 10 問題演習② 11 問題演習③ 12 問題演習④ 13 問題演習⑤ 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ｖ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義・実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	現場に必要なトレーニングの知識習得及びプログラムの立案と作成を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技を行う
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要なトレーニング範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	1 ウォームアップとクールダウン（実技①） 2 ウォームアップとクールダウン（実技②） 3 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウン① 4 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウン② 5 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウン（実技） 6 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップの実際（実技①） 7 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップの実際（実技②） 8 中間考査① 9 トレーニング計画の立案① 10 トレーニング計画の立案② 11 トレーニング計画の立案（実技） 12 特別な対象のためのトレーニングプログラム（実技①） 13 特別な対象のためのトレーニングプログラム（実技②） 14 特別な対象のためのトレーニングプログラム（実技③） 15 期末考査① 16 スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成① 17 スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成② 18 スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成（実技） 19 スピード向上トレーニングの実際（実技①） 20 スピード向上トレーニングの実際（実技②） 21 スピード向上トレーニングの実際（実技③） 22 中間考査② 23 トレーニングの運営① 24 トレーニングの運営② 25 トレーニングの運営③ 26 運動指導のための情報収集と活用① 27 運動指導のための情報収集と活用② 28 運動指導のための情報収集と活用③ 29 期末考査② 30 解説
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ジョグ＆ウォーク
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義・実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	エンデュランストレーニングプログラムの立案と作成を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要なウォーキングとジョギング範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	1 ウォーキングとジョギング、ウォーキングとジョギングの特性 2 ウォーキングとジョギングによる運動効果、時間と頻度（実技） 3 ウォーキングとジョギングのエネルギー消費量（実技） 4 ウォーキングとジョギングの基本的なフォーム、安全上の注意点（実技） 5 ウォーキングとジョギングによる障害とその予防法 6 ウォーキングとジョギングのプログラム（実技） 7 中間考査 8 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成① 9 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成② 10 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成③ 11 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成④ 12 持久力向上トレーニングの実際① 13 持久力向上トレーニングの実際② 14 持久力向上トレーニングの実際③ 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	陸上運動
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	エアロビクス・レジスタンスの特性・効果を理解し、指導法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技を行う
達成目標	健康運動実践指導者実技試験（陸上運動）合格を目標とする
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 エアロビックダンス・レジスタンスの課題動作 2 エアロビックダンス（課題動作、フォーム確認） 3 エアロビックダンス（観察・修正・指導の循環） 4 エアロビックダンス（反復練習） 5 レジスタンス（課題動作、フォーム確認） 6 レジスタンス（観察・修正・指導の循環） 7 レジスタンス（反復練習） 8 中間考査 9 エアロビックダンス・レジスタンス（指導練習①） 10 エアロビックダンス・レジスタンス（指導練習②） 11 エアロビックダンス・レジスタンス（指導練習③） 12 エアロビックダンス・レジスタンス（指導練習④） 13 エアロビックダンス・レジスタンス（指導練習⑤） 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	水中運動Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	アクアエクササイズのインストラクターの役割を理解し、指導法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技を行う
達成目標	健康運動実践指導者実技試験（水泳・水中運動）合格を目標とする
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 水中運動（アクアダンスの指導法①） 2 水中運動（アクアダンスの指導法②） 3 水中運動（アクアダンスの指導法③） 4 水中運動（アクアダンスの指導法④） 5 水中運動（アクアダンスの指導法⑤） 6 水中運動（アクアダンスの指導法⑥） 7 水中運動（アクアダンスの指導法⑦） 8 中間考査 9 水中運動（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法①） 10 水中運動（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法②） 11 水中運動（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法③） 12 水中運動（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法④） 13 水中運動（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法⑤） 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	健康運動実践指導者理論Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	健康運動指導者検定試験に必要な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者筆記試験合格を目標とする
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 健康づくり施策概論① 2 健康づくり施策概論② 3 健康づくり施策概論③ 4 運動生理学① 5 運動生理学② 6 機能解剖とバイオメカニクス① 7 機能解剖とバイオメカニクス② 8 中間考査 9 栄養摂取と運動① 10 栄養摂取と運動② 11 体力測定と評価① 12 体力測定と評価② 13 健康づくりと運動プログラム① 14 健康づくりと運動プログラム② 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	健康運動実践指導者理論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	健康運動指導者検定試験に必要な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者筆記試験合格を目標とする
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 運動指導の心理学的基礎① 2 運動指導の心理学的基礎② 3 健康づくり運動の実際（ウォームアップとクールダウン、ストレッチング） 4 健康づくり運動の実際（ウォーキングとジョギング、エアロビクスダンス） 5 健康づくり運動の実際（水泳・水中運動、レジスタンスエクササイズ） 6 運動障害と予防・救急処置① 7 運動障害と予防・救急処置② 8 中間考査 9 問題演習① 10 問題演習② 11 問題演習③ 12 問題演習④ 13 問題演習⑤ 14 問題演習⑥ 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	解剖学Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	運動器の骨、筋、靭帯、関節の機能を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	整形外科的範囲内の機能解剖学の内容を理解する
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）、トレーニング指導者テキスト（理）、ボディナビゲーション
特記	
授業計画	1 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成① 2 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成② 3 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成③ 4 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成④ 5 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成⑤ 6 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成⑥ 7 中間考査① 8 上肢（関節） 9 上肢（神経と血管①） 10 上肢（神経と血管②） 11 上肢（筋①） 12 上肢（筋②） 13 上肢（筋③） 14 期末考査① 15 下肢（骨、関節、筋肉） 16 下肢（神経と動脈） 17 下肢（股関節の筋①） 18 下肢（股関節の筋②） 19 下肢（足関節の筋①） 20 下肢（足関節の筋②） 21 中間考査② 22 問題演習① 23 問題演習② 24 問題演習③ 25 問題演習④ 26 問題演習⑤ 27 問題演習⑥ 28 問題演習⑦ 29 問題演習⑧ 30 期末考査②
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	運動生理学Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	筋の役割や呼吸循環系といった運動生理学の知識とトレーニングとの関連性を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	ＪＡＴＩの試験に必要な運動生理学範囲の知識を習得する
教科書	トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 呼吸循環系（エネルギー代謝の基礎的情報①） 2 呼吸循環系（エネルギー代謝の基礎的情報②） 3 呼吸循環系（運動とエネルギー代謝①） 4 呼吸循環系（運動とエネルギー代謝②） 5 呼吸循環系（トレーニングとエネルギー代謝①） 6 呼吸循環系（トレーニングとエネルギー代謝②） 7 中間考査対策① 8 中間考査① 9 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（骨格筋の形態と機能①） 10 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（骨格筋の形態と機能②） 11 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（筋力発揮のメカニズム①） 12 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（筋力発揮のメカニズム②） 13 期末考査対策① 14 期末考査① 15 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（筋・神経系に対するトレーニング効果①） 16 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（筋・神経系に対するトレーニング効果②） 17 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（主な内分泌器官とホルモン①） 18 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（主な内分泌器官とホルモン②） 19 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（身体機能へのホルモンの作用①） 20 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（身体機能へのホルモンの作用②） 21 中間考査対策② 22 中間考査② 23 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（筋肥大におけるホルモンの役割①） 24 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（筋肥大におけるホルモンの役割②） 25 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（レジスタンストレーニングとホルモンの分泌①） 26 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（レジスタンストレーニングとホルモンの分泌②） 27 問題演習① 28 問題演習② 29 期末考査対策② 30 期末考査②
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング指導者理論
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ＪＡＴＩの試験に必要な理論編範囲を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	ＪＡＴＩ試験の一般科目合格レベルを目標とする
教科書	トレーニング指導者テキスト（理）、ＪＡＴＩ問題集
特記	
授業計画	1 体力学総論 2 機能解剖学（上肢） 3 機能解剖学（脊柱と胸郭） 4 機能解剖学（下肢） 5 バイオメカニクス（基礎理論） 6 バイオメカニクス（スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス） 7 運動生理学① 8 運動生理学② 9 中間考査 10 運動と栄養 11 運動と心理 12 運動と医学（救急処置法、スポーツ選手の整形外科的傷害と予防） 13 運動と医学（生活習慣病とその予防） 14 運動指導の科学 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング指導者実践
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ＪＡＴＩの試験に必要な実践編範囲を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	ＪＡＴＩ試験の専門科目合格レベルを目標とする
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）、ＪＡＴＩ問題集
特記	
授業計画	1 トレーニング指導者論 2 各種トレーニング法の理論とプログラム① 3 各種トレーニング法の理論とプログラム② 4 各種トレーニング法の理論とプログラム③ 5 各種トレーニング法の理論とプログラム④ 6 各種トレーニング法の理論とプログラム⑤ 7 中間考査 8 各種トレーニング法の実際① 9 各種トレーニング法の実際② 10 各種トレーニング法の実際③ 11 各種トレーニング法の実際④ 12 トレーニング効果の測定と評価① 13 トレーニング効果の測定と評価② 14 トレーニングの運営と情報収集と活用 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング指導者演習Ｉ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	ＪＡＴＩの試験に必要な理論編範囲を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を実施する
達成目標	ＪＡＴＩ試験の一般科目合格レベルを目標とする
教科書	トレーニング指導者テキスト（理）、ＪＡＴＩ問題集
特記	
授業計画	1 問題演習（理論編①） 2 問題演習（理論編②） 3 問題演習（理論編③） 4 問題演習（理論編④） 5 問題演習（理論編⑤） 6 問題演習（理論編⑥） 7 問題演習（理論編⑦） 8 中間考査① 9 問題演習（理論編⑧） 10 問題演習（理論編⑨） 11 問題演習（理論編⑩） 12 問題演習（理論編⑪） 13 問題演習（理論編⑫） 14 問題演習（理論編⑬） 15 期末考査① 16 問題演習（理論編⑭） 17 問題演習（理論編⑮） 18 問題演習（理論編⑯） 19 問題演習（理論編⑰） 20 問題演習（理論編⑱） 21 問題演習（理論編⑲） 22 中間考査② 23 問題演習（理論編⑳） 24 問題演習（理論編㉑） 25 問題演習（理論編㉒） 26 問題演習（理論編㉓） 27 問題演習（理論編㉔） 28 問題演習（理論編㉕） 29 模擬試験 30 期末考査②
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング指導者演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	ＪＡＴＩの試験に必要な実践編範囲を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を実施する
達成目標	ＪＡＴＩ試験の専門科目合格レベルを目標とする
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）、ＪＡＴＩ問題集
特記	
授業計画	1 問題演習（実践編①） 2 問題演習（実践編②） 3 問題演習（実践編③） 4 問題演習（実践編④） 5 問題演習（実践編⑤） 6 問題演習（実践編⑥） 7 問題演習（実践編⑦） 8 中間考査① 9 問題演習（実践編⑧） 10 問題演習（実践編⑨） 11 問題演習（実践編⑩） 12 問題演習（実践編⑪） 13 問題演習（実践編⑫） 14 問題演習（実践編⑬） 15 期末考査① 16 問題演習（実践編⑭） 17 問題演習（実践編⑮） 18 問題演習（実践編⑯） 19 問題演習（実践編⑰） 20 問題演習（実践編⑱） 21 問題演習（実践編⑲） 22 中間考査② 23 問題演習（実践編⑳） 24 問題演習（実践編㉑） 25 問題演習（実践編㉒） 26 問題演習（実践編㉓） 27 問題演習（実践編㉔） 28 問題演習（実践編㉕） 29 模擬試験 30 期末考査②
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	アクアエクササイズ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	アクアエクササイズインストラクターの役割を理解し、指導法を学ぶ
授業の進め方	筆記試験と実技試験の対策指導を実施する
達成目標	ＪＡＦＡ－ＧＦＩ　ＡＱＷＩ・ＡＱＤＩ試験合格を目標とする
教科書	アクアエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 水中レジスタンス、アクアダンスの特性・効果 2 水中レジスタンスの基本動作、運動強度 3 水中レジスタンスのプログラミング 4 水中レジスタンスの指導法① 5 水中レジスタンスの指導法② 6 水中ウォーキング、レジスタンスの指導法① 7 水中ウォーキング、レジスタンスの指導法② 8 中間考査 9 腰痛者、妊婦などの対象者への指導、注意点 10 アクアダンスの基本動作 11 アクアダンスの運動強度 12 アクアダンスのプログラミング 13 アクアダンスのコリオグラフィー 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	エアロビクスⅡ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	エアロビクスインストラクターの役割を理解し、指導法を学ぶ
授業の進め方	筆記試験と実技試験の対策指導を実施する
達成目標	ＪＡＦＡ－ＧＦＩ　ＡＤＩ試験合格を目標とする
教科書	エアロビックダンスエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 環境条件（音楽、心拍数、強度、服装、用具、シューズ、床） 2 運動指導上の注意点、指導者の役割 3 エアロビックダンス（プログラミング：運動強度） 4 エアロビックダンス（プログラミング：つなぎ、コンビネーション） 5 エアロビックダンス（プログラミング：安全性、リニア） 6 エアロビックダンス（指導法：キューイング） 7 指導の循環 8 中間考査 9 エアロビックダンス（指導練習①） 10 エアロビックダンス（指導練習②） 11 エアロビックダンス（指導練習③） 12 エアロビックダンス（指導練習④） 13 エアロビックダンス（指導練習⑤） 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅵ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	走る、跳ぶに特化したトレーニング科学の概論を学ぶ
授業の進め方	スピード向上トレーニングの種類や効果を理解し、実施する
達成目標	スポーツ選手を対象とした運動指導方法を習得する
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	1 ガイダンス（スピードの概念、基本動作） 2 体幹トレーニング概論① 3 体幹トレーニング概論② 4 スプリント（スタート動作①） 5 スプリント（スタート動作②） 6 スプリント（減速動作①） 7 スプリント（減速動作②） 8 スプリント（フリープログレッション） 9 ジャンプ（スクワット～スクワットジャンプ） 10 ジャンプ（連続ジャンプ～ターンジャンプへの応用） 11 ラテラル動作（サイドウォーク～サイドステップ） 12 ラテラル動作（切り返し動作） 13 フリープログレッション応用（リニア～ラテラル、ラテラル～リニア） 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅶ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	パーソナルトレーニング指導において様々なトレーニング方法とプログラミング方法を学ぶ
授業の進め方	パーソナルトレーニングの種類や効果を理解し、実施する
達成目標	様々なクライアントに対して適切なトレーニングメニューの作成方法を習得する
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	1 ガイダンス（強度、頻度、回数の応用理論） 2 スロートレーニング① 3 スロートレーニング② 4 スロートレーニング③ 5 徒手抵抗トレーニング① 6 徒手抵抗トレーニング② 7 徒手抵抗トレーニング③ 8 バリスティックトレーニング① 9 バリスティックトレーニング② 10 バリスティックトレーニング③ 11 様々なクライアントを対象としたプログラミング① 12 様々なクライアントを対象としたプログラミング② 13 様々なクライアントを対象としたプログラミング③ 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅷ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	様々な有酸素、無酸素運動のトレーニング方法とプログラミング方法を学ぶ
授業の進め方	エンデュランストレーニングの種類と効果を理解し、実施する
達成目標	様々なクライアントに対して適切なトレーニングメニューの作成方法を習得する
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	1 ガイダンス（持久力に関する基礎理論） 2 適切なウォームアップとクールダウン 3 ＬＳＤトレーニング 4 ＡＴペーストレーニング 5 タイムトライアル 6 ビルドアップ 7 ファルトレク 8 インターバルトレーニング① 9 インターバルトレーニング② 10 レペティショントレーニング① 11 レペティショントレーニング② 12 様々なクライアントを対象としたプログラミング① 13 様々なクライアントを対象としたプログラミング② 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	リハビリテーションⅡ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	筋・筋膜への包括的なアプローチ方法について学ぶ
授業の進め方	リハビリテーションの種類や効果を理解し、実施する
達成目標	様々な対象に対して筋・筋膜へのアプローチ方法を習得する
教科書	ボディナビゲーション
特記	
授業計画	1 ガイダンス（セルフモニタリングのやり方について） 2 解剖学（表層筋） 3 解剖学（深層筋） 4 表層筋へのアプローチ① 5 表層筋へのアプローチ② 6 表層筋へのアプローチ③ 7 深層筋へのアプローチ① 8 深層筋へのアプローチ② 9 深層筋へのアプローチ③ 10 様々な対象へのアプローチ① 11 様々な対象へのアプローチ② 12 様々な対象へのアプローチ③ 13 様々な対象へのアプローチ④ 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	フィットネス実践Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	グループレッスンに必要な知識、実技スキルの活用方法を学ぶ
授業の進め方	グループレッスンの種類や効果を理解し、実施する
達成目標	基礎から応用まで幅広いグループレッスンの運動指導方法を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス（グループレッスンの種類、特徴、基本構成） 2 レッスンプログラミング応用（ウォームアップとクールダウン指導） 3 レッスンプログラミング応用（筋コンディショニング指導） 4 レッスンプログラミング応用（その他ツール使用の指導） 5 レッスンプログラミング応用（カウントとキューイング指導） 6 レッスンプログラミング応用（モデルレッスン作成指導） 7 レッスンプログラミング応用（モデルレッスン実践指導） 8 特殊な対象への運動指導時の留意点① 9 特殊な対象への運動指導時の留意点② 10 エクササイズ指導① 11 エクササイズ指導② 12 エクササイズ指導③ 13 エクササイズ指導④ 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	フィットネス実践Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ダンスの基礎、応用技能を学ぶ
授業の進め方	様々なジャンルのダンスを理解し、実施する
達成目標	ダンス大会に出場できる技能を習得する
教科書	なし
特記	
授業計画	1 ガイダンス（ダンスジャンルの紹介、デモレッスン） 2 応用エクササイズ① 3 応用エクササイズ② 4 応用エクササイズ③ 5 応用エクササイズ④ 6 応用エクササイズ⑤ 7 応用エクササイズ⑥ 8 応用エクササイズ⑦ 9 チーム練習① 10 チーム練習② 11 チーム練習③ 12 チーム練習④ 13 チーム練習⑤ 14 チーム練習⑥ 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	幼児体育指導者理論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	子どもの運動指導に必要とされる発育発達論、幼児体育論、指導プログラムを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	適切な幼児体育指導の基礎的知識を習得する
教科書	幼児体育指導者検定公式テキスト　２・３級
特記	
授業計画	1 幼児の発達の様相（スキャモンの発育曲線に見る運動の発達順序） 2 幼児の発達の様相（乳幼児から幼児期への身体発達） 3 幼児期における運動中枢の未分化と発達過程における左右交替の原理） 4 幼児における外発的動機づけと内発的動機づけ 5 学習の適時性（臨界期とレディネス） 6 学習の適時性（身体的心理面からの幼児の発達的特徴の理解） 7 学習曲線のタイプ別理解（タイプＡ、Ｂ） 8 学習曲線のタイプ別理解（タイプＣ、Ｄ、Ｅ） 9 運動(技能)学習の過程（初期効果） 10 運動(技能)学習の過程（高原現象について） 11 運動(技能)学習の過程（学習の移転） 12 学習方法について（全習法と分習法の選択） 13 教育の６原則（動機、目的、実習の原則について） 14 教育の６原則（現実性、経験、関連性の原則） 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売知識基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 販売員の役割① 2 販売員の役割② 3 販売員の役割③ 4 販売員の法廷知識① 5 販売員の法廷知識② 6 販売員の法廷知識③ 7 小売業の計数管理① 8 小売業の計数管理② 9 小売業の計数管理③ 10 店舗管理① 11 店舗管理② 12 店舗管理③ 13 店舗管理④ 14 店舗管理⑤ 15 店舗管理⑥ 16 流通における小売業① 17 流通における小売業② 18 流通における小売業③ 19 流通における小売業④ 20 流通における小売業⑤ 21 流通における小売業⑥ 22 組織形態別小売業① 23 組織形態別小売業② 24 組織形態別小売業③ 25 店舗形態別小売業① 26 店舗形態別小売業② 27 店舗形態別小売業③ 28 商業集積① 29 商業集積② 30 商業集積③ 31 商業集積④ 32 商業集積⑤ 33 商業集積⑥ 34 小売業のマーケティング① 35 小売業のマーケティング② 36 小売業のマーケティング③ 37 小売業のマーケティング④ 38 小売業のマーケティング⑤ 39 小売業のマーケティング⑥ 40 顧客満足経営① 41 顧客満足経営② 42 顧客満足経営③ 43 顧客満足経営④ 44 顧客満足経営⑤ 45 顧客満足経営⑥
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト１００％　科目習熟度を測定する試験で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売知識応用
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	リテールマーケティング検定３級レベルの知識を理解し身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 証券の設定と出店① 2 証券の設定と出店② 3 証券の設定と出店③ 4 リージョナルプロモーション① 5 リージョナルプロモーション② 6 リージョナルプロモーション③ 7 顧客志向型売り場づくり① 8 顧客志向型売り場づくり② 9 顧客志向型売り場づくり③ 10 ストアオペレーション① 11 ストアオペレーション② 12 ストアオペレーション③ 13 ストアオペレーション④ 14 ストアオペレーション⑤ 15 ストアオペレーション⑥ 16 梱包技術① 17 梱包技術② 18 梱包技術③ 19 ディスプレイ① 20 ディスプレイ② 21 ディスプレイ③ 22 商品① 23 商品② 24 商品③ 25 マーチャンダイジング① 26 マーチャンダイジング② 27 マーチャンダイジング③ 28 マーチャンダイジング④ 29 マーチャンダイジング⑤ 30 マーチャンダイジング⑥ 31 商品計画① 32 商品計画② 33 商品計画③ 34 販売計画及び仕入れ計画① 35 販売計画及び仕入れ計画② 36 販売計画及び仕入れ計画③ 37 価格設定① 38 価格設定② 39 価格設定③ 40 在庫管理① 41 在庫管理② 42 在庫管理③ 43 販売管理① 44 販売管理② 45 販売管理③
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト１００％　科目習熟度を測定する試験で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Ｅｘｃｅｌ応用
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	MOS Excelエキスパートレベルの知識・操作に関する総合的な学習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理 2 セルやセル範囲のデータの管理 3 テーブルの作成 4 テーブルの作成 5 関数を使用してのデータ集計① 6 関数を使用してのデータ集計② 7 関数を使用しての条件付き計算① 8 関数を使用しての条件付き計算② 9 関数を使用しての条件付き計算③ 10 関数を使用した文字列の整形や変更① 11 関数を使用した文字列の整形や変更② 12 グラフの作成① 13 グラフの作成② 14 グラフの書式設定 15 オブジェクトの挿入や書式設定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Ｗｏｒｄ基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文章の作成① 2 文章の作成② 3 文章内の移動① 4 文章内の移動② 5 文章の書式設定① 6 文章の書式設定② 7 文章の書式設定③ 8 文章の書式設定④ 9 オプションの設定、表示のカスタマイズ① 11 オプションの設定、表示のカスタマイズ② 12 オプションの設定、表示のカスタマイズ③ 13 文章の印刷、保存① 14 文章の印刷、保存② 15 文章の印刷、保存③ 16 文章の印刷、保存④ 17 文字列・段落の挿入① 18 文字列・段落の挿入② 19 文字列・段落の挿入③ 20 文字列・段落の挿入④ 21 文字列・段落の書式設定① 22 文字列・段落の書式設定② 23 文字列・段落の書式設定③ 24 文字列・段落の書式設定④ 25 文字列・段落の書式設定⑤ 26 文字列・段落の並び替え、グループ化① 27 文字列・段落の並び替え、グループ化② 28 文字列・段落の並び替え、グループ化③ 29 文字列・段落の並び替え、グループ化④ 30 文字列・段落の並び替え、グループ化⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Ｗｏｒｄ応用
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 表の作成 2 表の変更① 3 表の変更② 4 リストの作成、変更① 5 リストの作成、変更② 6 参照のための情報・記号の作成、管理① 7 参照のための情報・記号の作成、管理② 8 標準の参考資料作成、管理① 9 標準の参考資料作成、管理② 10 グラフィック要素の挿入① 11 グラフィック要素の挿入② 12 グラフィック要素の書式設定① 13 グラフィック要素の書式設定② 14 SmartArtの挿入、書式設定① 15 SmartArtの挿入、書式設定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Ｐｏｗｅｒ　Ｐｏｉｎｔ基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションの作成① 2 プレゼンテーションの作成② 3 スライドの挿入、書式設定① 4 スライドの挿入、書式設定② 5 配布資料、ノートの変更① 6 配布資料、ノートの変更② 7 配布資料、ノートの変更③ 8 スライドの並べ替え、グループ化① 9 スライドの並べ替え、グループ化② 10 スライドの並べ替え、グループ化③ 11 オプションの変更① 12 オプションの変更② 13 オプションの変更③ 14 スライドショーの設定、実行① 15 スライドショーの設定、実行② 16 スライドショーの設定、実行③ 17 テキストの挿入、書式設定① 18 テキストの挿入、書式設定② 19 テキストの挿入、書式設定③ 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定① 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定② 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③ 23 図の挿入、書式設定① 24 図の挿入、書式設定② 25 図の挿入、書式設定③ 26 図の挿入、書式設定④ 27 図形の並び替え、グループ化① 28 図形の並び替え、グループ化② 29 図形の並び替え、グループ化③ 30 図形の並び替え、グループ化④
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Ｐｏｗｅｒ　Ｐｏｉｎｔ応用
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 表の挿入、設定 2 グラフの挿入、書式設定① 3 グラフの挿入、書式設定② 4 SmartArtの挿入、書式設定① 5 SmartArtの挿入、書式設定② 6 メディアの挿入、管理① 7 メディアの挿入、管理② 8 画面切り替えの設定① 9 画面切り替えの設定② 10 アニメーションの設定① 11 アニメーションの設定② 12 複数のコンテンツの結合① 13 複数のコンテンツの結合② 14 プレゼンテーションの保護、共有① 15 プレゼンテーションの保護、共有②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 社会人マナー 2 冠婚葬祭マナー 3 贈答マナー 4 会食マナー 5 時事研究・グループ討議① 6 時事研究・グループ討議② 7 時事研究・グループ討議③ 8 時事研究・グループ討議④ 9 時事研究・グループ討議⑤ 10 時事研究・グループ討議⑥ 11 時事研究・グループ討議⑦ 12 時事研究・グループ討議⑧ 13 時事研究・グループ討議⑨ 14 発表① 15 発表②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 挨拶の種類・笑顔、お辞儀 2 正しい敬語の使い方 3 状況に応じた言葉遣い 4･5 演習 6･7 効果測定 8 応対の基本 9 名刺交換 10･11 演習 12･13 総合演習 14･15 効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅣ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 接客販売の心得 2 お客様の心理理解 3 接客用語 4 状況別の店内接客 5 状況別の店内接客 6 演習 7 演習 8 電話応対での問い合わせ 9 演習 10 演習 11 総合演習 12 総合演習 13 総合演習 14 効果測定 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅤ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 営業職のマナー① 2 営業職のマナー② 3 訪問のマナー① 4 訪問のマナー② 5 演習 6 演習 7 商談の進め方① 8 商談の進め方② 9 演習 10 演習 11 総合演習 12 総合演習 13 総合演習 14 効果測定 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅥ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商品説明知識 2 好感を持たれる商品説明 3 演習 4 演習 5 クレームとは 6 電話でのクレーム応対方法 7 演習 8 演習 9 店内でのクレーム応対方法 10 演習 11 演習 12 総合演習 13 総合演習 14 効果測定 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 学校と職場の違い① 2 学校と職場の違い② 3 学校と職場の違い③ 4 職場のマナー① 5 職場のマナー② 6 職場のマナー③ 7 仕事の進め方① 8 仕事の進め方② 9 仕事の進め方③ 10 報告、連絡、相談① 11 報告、連絡、相談② 12 報告、連絡、相談③ 13 挨拶① 14 挨拶② 15 挨拶③ 16 笑顔、お辞儀① 17 笑顔、お辞儀② 18 笑顔、お辞儀③ 19 敬語① 20 敬語② 21 敬語③ 22 応対の基本① 23 応対の基本② 24 応対の基本③ 25 電話応対① 26 電話応対② 27 電話応対③ 28 効果測定① 29 効果測定② 30 効果測定③
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	接遇ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択Ｃ	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	接遇マナーとは
	2	接遇の心構え
	3	お茶の入れ方、出し方
	4	お見送り
	5	後片付け
	6～7	接遇の流れ
	8～13	演習
	14～15	効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売仕入管理
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 売上事務の流れ 2 納品書の作成と売上計上① 3 納品書の作成と売上計上② 4 請求書の作成と代金回収管理① 5 請求書の作成と代金回収管理② 6 請求書の作成と代金回収管理③ 7 複数の得意先との取引① 8 複数の得意先との取引② 9 複数の得意先との取引③ 10 仕入事務の流れ 11 仕入管理の記帳① 12 仕入管理の記帳② 13 仕入代金の支払いと買掛金管理① 14 仕入代金の支払いと買掛金管理② 15 仕入代金の支払いと買掛金管理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	時事
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報取集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 用語知識① 2 用語知識② 3 用語知識③ 4 用語知識④ 6 考え方① 7 考え方② 8 考え方③ 9 考え方④ 10 発表① 11 発表② 12 発表③ 13 個人研究① 14 個人研究② 15 個人研究③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マーケティング概要
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 顧客満足① 2 顧客満足② 3 マーケティングの必要性① 4 マーケティングの必要性② 5 情報収集と分析① 6 情報収集と分析② 7 流通チャネル① 8 流通チャネル② 9 プロモーション① 10 プロモーション② 11 財務知識① 12 財務知識② 13 事例研究① 14 事例研究② 15 確認テスト①
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マーケティング基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 店舗データの理解① 2 店舗データの理解② 3 マーケティングの流れ① 4 マーケティングの流れ② 5 売上構成分析① 6 売上構成分析② 7 来店客分析① 8 来店客分析② 9 商品分析① 10 商品分析② 11 費用分析① 12 費用分析② 13 課題抽出① 14 課題抽出② 15 アンケート調査分析① 16 アンケート調査分析② 17 企画作成① 18 企画作成② 19 企画作成③ 20 企画作成④ 21 様々なマーケティング① 22 様々なマーケティング② 23 プレ卒業研究① 24 プレ卒業研究② 25 プレ卒業研究③ 26 プレ卒業研究④ 27 プレ卒業研究⑤ 28 プレ卒業研究⑥ 29 プレ卒業研究⑦ 30 プレ卒業研究⑧
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売職ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	接客に関する実践的な学習をする
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 接客販売、営業マナーとは① 2 接客販売、営業マナーとは② 3 接客販売、営業マナーとは③ 4 接客販売の心得① 5 接客販売の心得② 6 接客販売の心得③ 7 お客様の心理① 8 お客様の心理② 9 お客様の心理③ 10 店内接客の基本① 11 店内接客の基本② 12 店内接客の基本③ 13 演習① 14 演習② 15 演習③ 16 営業の心得① 17 営業の心得② 18 営業の心得③ 19 訪問の流れ① 20 訪問の流れ② 21 訪問の流れ③ 22 演習① 23 演習② 24 演習③ 25 商談の進め方① 26 商談の進め方② 27 商談の進め方③ 28 商品説明① 29 商品説明② 30 商品説明③ 31 演習① 32 演習② 33 演習③ 34 接遇マナーとは① 35 接遇マナーとは② 36 接遇マナーとは③ 37 接遇の流れ① 38 接遇の流れ② 39 接遇の流れ③ 40 演習① 41 演習② 42 演習③ 43 効果測定① 44 効果測定② 45 効果測定③
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	プレゼンテーション
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	企画から発表までの一連の流れ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションとは何か 2 プレゼンテーションの種類 3 企画・情報収集・シナリオ作成 4 企画・情報収集・シナリオ作成 5 企画・情報収集・シナリオ作成 6 企画・情報収集・シナリオ作成 7 企画・情報収集・シナリオ作成 8 企画・情報収集・シナリオ作成 9 企画・情報収集・シナリオ作成 10 企画・情報収集・シナリオ作成 11 企画・情報収集・シナリオ作成 12 企画・情報収集・シナリオ作成 13 コンテンツ作成 14 話し方 15 発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	卒業研究
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習
授業時間	１８０時間
授業コマ数	９０コマ
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1～69 業界分析・情報収集・店舗分析・店舗見学・課題抽出・仮説・調査・検証・企画案作成 70～74 中間発表 75～79 再検証 80～84 最終発表 85～90 代表によるコンテストの実施
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（英会話基礎）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	外国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	基本的な英会話の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 英語基礎① 2 Self Introductions 3 Basic Conversation and Responses 4 英語基礎② 5 Everyday Conversation 6 Expressing Feelings 7 英語基礎③ 8 Emotions, Reactions, and Wh- Questions 9 Daily Life 10 英語基礎④ 11 Daily Life 2: Hospitality 12 Daily Life 3: Telephoning 13 英語基礎⑤ 14 Responding to Foreign Visitors 15 Review
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（中国語）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	中国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	学習者の中国語への興味を深める上、中国や中国語についての知識を広げ、今後本格的な中国語学習のきっかけを作る。
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 中国語発音の基礎(1)　四つの声調・六つの基本母音・複合母音 2 中国語発音の基礎(2)　21の子音・鼻音・声調変化 3 中国語発音の基礎(3)　声調と変調・ｒ化現象・発音のおさらい 4 簡単な日常挨拶(1)　人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について 5 簡単な日常挨拶(2)　基本的語順（是or動詞を述語とする場合）・丁寧語について 6 数字を覚えよう　年,月,日,曜日の言い方・所属を表す「的」・疑問視「什么」 7 数字の活用　こんな時「是」は省略される・金額の言い方・否定を表す「不」時刻と時間の長さの言い方・副詞「也」・疑問詞「怎么样」 8 存在・所有の表現　動詞「有」・否定「没有」・「什么」＋名詞 9 場所の表現　場所指示代名詞「这里」「那里」「哪里」・前置詞構造「在」 10 買い物をする／値段を聞く＆値段交渉する　人民元の数え方・能願動詞「要」「能」「会」「可以」・語気助詞「了」 11 乗り換えと両替　「必要・なければならない」を表す「要」・完了を表す「了」・動詞重ね型「看々」 12 電話をする→「是～的」の構文・結果補語　約束する→ある経験を表す文型「動詞＋过～」・まだ～していない「还没(有)～」 13 確認する→もうすぐ～「要～了」・前置詞「从」「离」・選択疑問文「～、还是～」 14 お客さんの出迎え＆歓迎会　連体修飾語としての動詞，動詞構造，主述構造・程度補語「得」 15 別れを告げる＆総復習　仮説を表す「～的话」，「要是～就～」・これまで習ってきた内容を総復習する
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（韓国語）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	韓国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	１．読み書きができる。 ２．以下の簡単な会話ができる ①挨拶＆自己紹介 ②買い物でのやりとり ③店での注文 ④道などを尋ねる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 オリエンテーション；韓国語に関する豆知識　基本母音 2 基本子音①説明＆子音「Ｋ」　復習と会話 3 小テスト　基本子音②－「Ｎ」＆「Ｔ」＆「Ｒ」　基本子音③－「Ｍ」＆「Ｐ」＆「Ｓ」 4 復習と会話　基本子音④－「J」＆「H」＋まとめ 5 小テスト　激音①－「Ｃｈ」＆「Ｋｈ」　復習と会話 6 激音②－「Ｔｈ」＆「Ｐｈ」＋まとめ　濃音①－「KK」＆「TT」＆「PP」 7 小テスト　復習と会話　濃音②－「SS」＆「JJ」＋まとめ 8 パッチム①〔P20の説明、P23N〕　復習と会話 9 小テスト　パッチム②〔P20K、P21B〕　パッチム③〔P22M、P21NG〕 10 復習と会話　パッチム④〔P23L、P22T〕＋まとめ 11 小テスト　合成母音①〔P25＆26の説明〕　復習と会話 12 合成母音②〔P27、28〕　〈1課〉私は日本人です。 13 小テスト　宿題チェック　〈1課〉私は日本人です。 14 まとめ　〈1課〉宿題チェック／総復習 15 最終到達度確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ｉ　数的推理
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と数的処理力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
	1 方程式・不等式（方程式） 2 方程式・不等式（不定式、過不足算） 3 整数・計算パズル（約数と倍数、割り算の余り、整数の性質） 4 整数・計算パズル（数列、ｎ進法、その他、整数に関する問題） 5 割合と比（割合、比） 6 割合と比（売買算） 7 割合と比（濃度） 8 割合と比（濃度）、速さ（速さ） 9 速さ（旅人算） 10 速さ（通過算、流水算） 11 速さ（時計算）、仕事算（仕事算、給排水算） 12 仕事算（仕事算、給排水算、ニュートン算） 13 その他文章題（年齢算、平均算） 14 場合の数（場合の数、順列、重複組合せ、円順列） 15 確率（事象と確率、赤玉白玉・くじ引き、サイコロ・コイン、じゃんけん・期待値）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	上記のほか、基礎数学と方程式の予備講義１コマを実施

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅱ　判断推理
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と論理的な思考力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 論理（対偶と三段論法、ド・モルガンの法則、論理と集合） 2 集合の要素（ベン図、キャロル表、交わりの最小値） 3 順序（順序の確定、順序の変動） 4 順序（順序の数値条件、時計のずれ） 5 位置・方位（位置・座席表、円卓・議長席・道をへだてて） 6 位置・方位（円卓・議長席・道をへだてて、方位・作図） 7 対応（対応関係、スケジュール表、対応の数値条件、やりとり） 8 勝敗（リーグ戦、トーナメント戦）・うそつき 9 暗号、推理・手順（他人の判断から判断する） 10 推理・手順（カードゲーム、石取りゲーム、てんびん、手順）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅲ　空間把握・資料解釈
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義
授業時間	２４時間
授業コマ数	１２コマ
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	立体でも平面でも捉えられる力と、資料を読み解く力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 回転と軌跡（直線図形の回転と軌跡、円弧を含む図形の回転と軌跡）、道順・一筆書き・位相 2 平面構成（折り紙）、平面構成（図形中の図形の数、平面図形の分割、平面図形の合成） 3 正多面体（正多面体、展開図）、立体構成（サイコロ） 4 立体構成（積木の問題、投影図、立体の切断） 5 立体構成（回転体）、平面図形の計量（角度） 6 平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理） 7 平面図形の計量（相似比、面積比） 8 平面図形の計量（面積比、円） 9 平面図形の計量（扇形と移動図形）、立体図形の計量 10 立体図形の計量 11 資料解釈（実数、割合・指数・前年比） 12 資料解釈（増加率、いろいろな資料）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践社会科学Ｉ　政治
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	基本的人権など憲法の基礎知識から本試験レベルの実践的知識まで学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の知識を短期間で習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 政治の基本理念、国家論 2 政治制度論 3 基本的人権総論、包括的基本権 4 自由権 5 社会権 6 国会の機構と運営 7 内閣の機構と運営 8 裁判所の機構と運営 9 地方自治 10 選挙制度
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践社会科学Ⅱ　経済
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義
授業時間	２４時間
授業コマ数	１２コマ
授業概要	財政政策・外国為替などの経済分野と労働問題などの社会分野の基礎知識と 本試験レベルの実践的知識までを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な経済と社会の知識を短期間で習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 経済社会の変容、現代の企業 2 現代の市場 3 国民所得 4 経済成長と景気循環 5 通貨制度と金融政策 6 財政制度と財政政策 7 貿易と外国為替 8 日本経済の動向 9 国際経済の動向 10 社会理論、労働問題 11 社会保障、環境問題 12 国際関係、現代の諸相
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践人文科学Ｉ　地理
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	気候や各国の産業などの基礎知識と本試験レベルの実践的知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な地理の知識を短期間で習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 世界の地形 2 世界の気候 3 世界の農業 4 世界の資源 5 世界の工業 6 地図の特色と利用 7 生活と地域 8 日本地誌 9 世界地誌（アジア、アフリカ） 10 世界地誌（ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践人文科学Ⅱ　歴史
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	大和政権から昭和までの日本史と中国の歴史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な日本および中国の歴史の知識を短期間で習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 大和政権と大化の改新 2 平安時代 3 鎌倉時代 4 室町時代 5 封建社会の確立 6 江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革） 7 江戸時代（幕末）、明治維新 8 立憲体制の確立 9 近代文化の発展 10 大正、昭和 11 中国史１（殷～漢） 12 中国史２（魏晋南北朝～隋、唐） 13 中国史３（宋、元） 14 中国史４（明、清） 15 中国史５（清の崩壊、中華民国）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践言語Ｉ　文理・国語
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ６０分
授業概要	文章読解と本試験レベルの実践的な国語を並行して進める
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会人として求められる読解力と国語力を短期間で身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 要旨把握、四字熟語 2 要旨把握、四字熟語 3 内容合致、ことわざ 4 内容合致、ことわざ 5 文章整除、文法基礎 6 文章整除、文法基礎 7 文章の穴埋め、敬語 8 科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ｉ　数的処理
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習
授業時間	２４時間
授業コマ数	１２コマ
授業概要	基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 数的推理総合演習 2 数的推理総合演習 3 数的推理総合演習 4 科目試験１ 5 判断推理総合演習 6 判断推理総合演習 7 判断推理総合演習 8 科目試験２ 9 図形・資料解釈総合演習 10 図形・資料解釈総合演習 11 図形・資料解釈総合演習 12 科目試験３
成績評価方法 （試験実施方法）	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅱ　社会科学
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習
授業時間	２８時間
授業コマ数	１４コマ
授業概要	政治・経済の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	社会科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 政治の基本理念、政治制度論 2 基本的人権 3 国会の機構と運営 4 内閣の機構と運営 5 裁判所の機構と運営 6 地方自治、選挙制度 7 現代の企業、現代の市場 8 国民所得 9 通貨制度と金融政策 10 財政制度と財政政策 11 貿易と外国為替 12 社会総合１ 13 社会総合２ 14 科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅲ　人文科学
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習
授業時間	２４時間
授業コマ数	１２コマ
授業概要	地理・歴史・倫理の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	人文科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集（第1講～第9講）・デジタルテキスト（第10講～第11講）
特記	
授業計画	1 日本史（中世、近世Ⅰ） 2 日本史（近世Ⅱ、近代Ⅰ） 3 日本史（近代Ⅱ、現代、通史） 4 地理（自然環境と地図） 5 地理（資源と産業、生活と地域） 6 地理（日本の地理） 7 地理（世界の地理） 8 世界史（東洋世界） 9 世界史（現代世界） 10 倫理（西洋思想） 11 倫理（東洋思想） 12 科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践答案練習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習
授業時間	４８時間
授業コマ数	２４コマ
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	19回目以降の模擬試験で全問題の半数以上の正解を目標とする
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 基礎的なレベルの模擬試験１ 2 基礎的なレベルの模擬試験２ 3 基礎的なレベルの模擬試験３ 4 基礎的なレベルの模擬試験４ 5 海上保安学校タイプの模擬試験 6 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験１ 7 自衛官タイプの模擬試験 8 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験２ 9 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験３ 10 基礎的なレベルの模擬試験６ 11 国家公務員タイプの模擬試験１ 12 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験４ 13 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験５ 14 国家公務員タイプの模擬試験２ 15 国家公務員タイプの模擬試験３ 16 国家公務員タイプの模擬試験４ 17 国家公務員タイプの模擬試験５ 18 地方公務員タイプの模擬試験１ 19 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験６ 20 警察官タイプの模擬試験 21 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験７ 22 地方公務員タイプの模擬試験２ 23 地方公務員タイプの模擬試験３ 24 地方公務員タイプの模擬試験４
成績評価方法 （試験実施方法）	第1回から第18回までは模擬試験の取り組み姿勢、第19回から第24回までは模擬試験成績にて評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ｉ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習
授業時間	１０８時間
授業コマ数	５４コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1･2 実戦的なタイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説・復習 3･4 実戦的なタイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説・復習 5･6 実戦的なタイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説・復習 7･8 実戦的なタイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説・復習 9･10 実戦的なタイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説・復習 11･12 実戦的なタイプの模擬試験６・当該模擬試験の解説・復習 13･14 国家公務員タイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説・復習 15･16 実戦的なタイプの模擬試験７・当該模擬試験の解説・復習 17･18 実戦的なタイプの模擬試験８・当該模擬試験の解説・復習 19･20 地方公務員タイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説・復習 21･22 地方公務員タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説・復習 23･24 地方公務員タイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説・復習 25･26 国家公務員タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説・復習 27･28 地方公務員タイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説・復習 29･30 国家公務員タイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説・復習 31･32 国家公務員タイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説・復習 33･34 国家公務員タイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説・復習 35･36 地方公務員タイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説・復習 37･38 地方公務員タイプの模擬試験６・当該模擬試験の解説・復習 39･40 実戦的なタイプの模擬試験９・当該模擬試験の解説・復習 41･42 警察官タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説・復習 43･44 実戦的なタイプの模擬試験１０・当該模擬試験の解説・復習 45･46 地方公務員タイプの模擬試験７・当該模擬試験の解説・復習 47･48 地方公務員タイプの模擬試験８・当該模擬試験の解説・復習 49･50 地方公務員タイプの模擬試験９・当該模擬試験の解説・復習 51･52 地方公務員タイプの模擬試験１０・当該模擬試験の解説・復習 53･54 地方公務員タイプの模擬試験１１・当該模擬試験の解説・復習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員時事対策
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	国内問題・国際問題問わず幅広いジャンルの社会時事を学ぶ
授業の進め方	重要な時事ワードを軸にその内容を解説し、問題演習まで行う
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 時事（政治分野１） 2 時事（政治分野２） 3 時事（政治分野３） 4 時事（経済分野１） 5 時事（経済分野２） 6 時事（文化１） 7 時事（文化２） 8 時事（文化３） 9 時事（科学１） 10 時事（科学２） 11 時事（科学３） 12 時事（科学４） 13 時事（科学５） 14 時事（国際問題１） 15 時事（国際問題２）
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの得点を中心に取り組み姿勢を含めて総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習
授業時間	４０時間
授業コマ数	２０コマ
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	適性試験の解き方を学び、1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 適性試験練習１ 2 適性試験練習２ 3 適性試験練習３ 4 適性試験練習４ 5 適性試験練習５ 6 適性試験練習６ 7 適性試験練習７ 8 適性試験練習８ 9 適性試験練習９ 10 適性試験練習１０ 11 適性試験練習１１ 12 適性試験練習１２ 13 適性試験練習１３ 14 適性試験練習１４ 15 適性試験練習１５ 16 適性試験練習１６ 17 適性試験練習１７ 18 適性試験練習１８ 19 適性試験練習１９ 20 適性試験練習２０
成績評価方法 （試験実施方法）	練習課題における得点で評価
備考	適性試験練習には一部模擬試験タイプを含む

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員教養論作文対策
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	公務員教養論作文試験対策のレクチャーおよび実践練習を行う
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身につける
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 論作文の書き方と正しい用紙の使い方 2 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習１ 3 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習２ 4 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習３ 5 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習４ 6 作文練習１ 7 作文練習２ 8 作文練習３ 9 作文練習４ 10 作文練習５ 11 作文練習６ 12 作文練習７ 13 作文練習８ 14 作文練習９ 15 作文練習１０
成績評価方法 （試験実施方法）	提出した作文の完成度を中心に、取り組み姿勢を含めて総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅳ　数的総合
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習
授業時間	４０時間
授業コマ数	２０コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	数的推理・判断推理の基礎知識を定着させ、応用問題も解答できるようにする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 方程式 2 方程式 3 整数・計算パズル 4 整数・計算パズル 5 割合と比 6 割合と比 7 速さ 8 速さ 9 仕事算 10 場合の数 11 確率 12 論理 13 集合の要素 14 順序 15 順序 16 位置・方位 17 対応 18 勝敗・うそつき 19 暗号、推理・手順 20 科目試験
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験の得点、授業への取り組み姿勢を総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践自然科学Ⅰ　生物・地学
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義
授業時間	２８時間
授業コマ数	１４コマ
授業概要	生体から自然環境までの生物分野、地球の内部構造から宇宙までの地学分野を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な生物・地学の知識を短期間で習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 生体の構造 2 生体内の代謝 3 生殖と発生 4 遺伝と変異 5 刺激の受容と反応 6 内部環境の恒常性と調節 7 生物の集団 8 生物の進化と系統 9 地球の姿と動く大地 10 岩石 11 大気と海洋Ⅰ 12 大気と海洋Ⅱ 13 太陽系と宇宙の構造Ⅰ 14 太陽系と宇宙の構造Ⅱ、地球と人類
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践自然科学Ⅱ　物理・化学
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義
授業時間	２８時間
授業コマ数	１４コマ
授業概要	物理分野は基本的な公式を覚え、運動・熱・電気などの仕組みを学び、化学分野は物質の仕組みや物質の変化を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な物理・化学の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト（第1講～第7講）・デジタルテキスト（第8講～第14講）
特記	
授業計画	1 運動の表現 2 力 3 運動方程式 4 エネルギー 5 運動量、熱 6 波動、原子 7 電気 8 物質の構造１ 9 物質の構造２ 10 物質の状態１ 11 物質の状態２ 12 物質の変化１ 13 物質の変化２ 14 無機化合物
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅳ　自然科学
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習
授業時間	１６時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	自然科学分野の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識の定着
教科書	スタンダード問題集・オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 数学基礎演習 2 数学基礎演習 3 生物総合演習 4 物理総合演習 5 物理総合演習 6 化学総合演習 7 化学総合演習 8 地学総合演習・科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	実践的な問題を含む5模擬試験で正答率6割以上を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 過去問タイプの模擬試験１ 2 過去問タイプの模擬試験2 3 過去問タイプの模擬試験1・2復習 4 過去問タイプの模擬試験3 5 過去問タイプの模擬試験4 6 過去問タイプの模擬試験3・4復習 7 過去問タイプの模擬試験5 8 過去問タイプの模擬試験6 9 過去問タイプの模擬試験5・6復習 10 過去問タイプの模擬試験7 11 過去問タイプの模擬試験8 12 過去問タイプの模擬試験7・8復習 13 過去問タイプの模擬試験9 14 過去問タイプの模擬試験10 15 過去問タイプの模擬試験9・10復習 16 過去問タイプの模擬試験11 17 過去問タイプの模擬試験12 18 過去問タイプの模擬試験11・12復習 19 過去問タイプの模擬試験13 20 過去問タイプの模擬試験14 21 過去問タイプの模擬試験13・14復習 22 過去問タイプの模擬試験15 23 過去問タイプの模擬試験16 24 過去問タイプの模擬試験15・16復習 25 過去問タイプの模擬試験17 26 過去問タイプの模擬試験18 27 過去問タイプの模擬試験17・18復習 28 過去問タイプの模擬試験19 29 過去問タイプの模擬試験20 30 過去問タイプの模擬試験19・20復習 31 過去問タイプの模擬試験21 32 過去問タイプの模擬試験22 33 過去問タイプの模擬試験21・22復習 34 過去問タイプの模擬試験23 35 過去問タイプの模擬試験24 36 過去問タイプの模擬試験23・24復習 37 過去問タイプの模擬試験25 38 過去問タイプの模擬試験26 39 過去問タイプの模擬試験25・26復習 40 過去問タイプの模擬試験27 41 過去問タイプの模擬試験28 42 過去問タイプの模擬試験27・28復習 43 過去問タイプの模擬試験29 44 過去問タイプの模擬試験30 45 過去問タイプの模擬試験29・30復習
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習
授業時間	１０２時間
授業コマ数	５１コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 過去問タイプの模擬試験１ 2･3 過去問タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説 4･5 過去問タイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説 6･7 過去問タイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説 8･9 過去問タイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説 10･11 過去問タイプの模擬試験６・当該模擬試験の解説 12･13 過去問タイプの模擬試験７・当該模擬試験の解説 14･15 過去問タイプの模擬試験８・当該模擬試験の解説 16･17 過去問タイプの模擬試験９・当該模擬試験の解説 18･19 過去問タイプの模擬試験１０・当該模擬試験の解説 20･21 過去問タイプの模擬試験１１・当該模擬試験の解説 22･23 過去問タイプの模擬試験１２・当該模擬試験の解説 24･25 過去問タイプの模擬試験１３・当該模擬試験の解説 26･27 過去問タイプの模擬試験１４・当該模擬試験の解説 28･29 過去問タイプの模擬試験１５・当該模擬試験の解説 30･31 過去問タイプの模擬試験１６・当該模擬試験の解説 32･33 過去問タイプの模擬試験１７・当該模擬試験の解説 34･35 過去問タイプの模擬試験１８・当該模擬試験の解説 36･37 過去問タイプの模擬試験１９・当該模擬試験の解説 38･39 過去問タイプの模擬試験２０・当該模擬試験の解説 40･41 過去問タイプの模擬試験２１・当該模擬試験の解説 42･43 過去問タイプの模擬試験２２・当該模擬試験の解説 44･45 過去問タイプの模擬試験２３・当該模擬試験の解説 46･47 過去問タイプの模擬試験２４・当該模擬試験の解説 48･49 過去問タイプの模擬試験２５・当該模擬試験の解説 50･51 過去問タイプの模擬試験２６・当該模擬試験の解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	総合的なレベルの模擬試験で正答率6割以上を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 総合的なタイプの模擬試験１ 2 模擬試験１の解説 3 総合的なレベルの模擬試験２ 4 模擬試験２の解説 5 総合的なレベルの模擬試験３ 6 模擬試験３の解説 7 総合的なレベルの模擬試験４ 8 模擬試験４の解説 9 総合的なレベルの模擬試験５ 10 模擬試験５の解説 11 総合的なレベルの模擬試験６ 12 模擬試験６の解説 13 総合的なレベルの模擬試験７ 14 模擬試験７の解説 15 総合的なレベルの模擬試験８
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員時事研究
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身につける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 情報収集と考察　テーマ１ 2 情報収集と考察　テーマ２ 3 情報収集と考察　テーマ３ 4 情報収集と考察　テーマ４ 5 情報収集と考察　テーマ５ 6 情報収集と考察　テーマ６ 7 情報収集と考察　テーマ７ 8 情報収集と考察　テーマ８ 9 情報収集と考察　テーマ９ 10 情報収集と考察　テーマ１０ 11 情報収集と考察　テーマ１１ 12 情報収集と考察　テーマ１２ 13 情報収集と考察　テーマ１３ 14 情報収集と考察　テーマ１４ 15 情報収集と考察　テーマ１５
成績評価方法 （試験実施方法）	提出物の内容を評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス文書作成
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ビジネス文書を作成する上で必要となるレベルのWORDの操作方法を学ぶ
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する
達成目標	正しい日本語の使い方を理解し、ビジネス文書を作成出来るようになる
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 文字入力の基礎１ 2 ビジネス文書作成１（案内文） 3 ビジネス文書作成２（案内文） 4 ビジネス文書作成３（送付状） 5 ビジネス文書作成４（送付状） 6 ビジネス文書作成５（社内文書） 7 ビジネス文書作成６（社内文書） 8 ビジネス文書作成７（表作成） 9 ビジネス文書作成８（表作成） 10 ビジネス文書作成９（文章と表の組み合わせ） 11 ビジネス文書作成１０（メール文章・メールの設定） 12 正しい日本語１ 13 正しい日本語２ 14 正しい日本語３ 15 正しい日本語４
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による課題の出来栄え、授業への参加姿勢で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	効果測定を通して面接の基礎を修得し、7試験種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	公務員ガイドブック・デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 公務員全般ガイダンス 2 公務員職種別ガイダンス 3 面接の基本 4 公務員試験研究 5 入退室の仕方、身嗜みチェック 6 面接効果測定1（初級効果測定） 7 自己分析 8 面接質問項目（想定質問） 9 自己PR作成 10 受験先研究 11 志望動機作成 12-13 集団討論対策 14 効果測定準備 15 面接効果測定2（中級効果測定） 16-23 職種別試験ガイダンス 24-25 官庁研究 26-27 模擬面接準備（試験種Ⅰ） 28-30 模擬面接（試験種Ⅰ） 31-32 模擬面接準備（試験種Ⅱ） 23-35 模擬面接（試験種Ⅱ） 36-37 模擬面接準備（試験種Ⅲ） 38-40 模擬面接（試験種Ⅲ） 41-42 模擬面接準備（試験種Ⅳ） 43-45 模擬面接（試験種Ⅳ）
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定および授業への参加姿勢で評価
備考	授業実施順序は入替をすることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習
授業時間	１２０時間
授業コマ数	６０コマ
授業概要	8試験種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	なし
特記	
授業計画	1-3 模擬面接準備（試験種Ⅰ） 4-6 模擬面接（試験種Ⅰ） 7-9 模擬面接準備（試験種Ⅱ） 10-12 模擬面接（試験種Ⅱ） 13-15 模擬面接準備（試験種Ⅲ） 16-18 模擬面接（試験種Ⅲ） 19-21 模擬面接準備（試験種Ⅳ） 22-24 模擬面接（試験種Ⅳ） 25-27 集団討論準備 28-30 集団討論 31-38 職種別試験ガイダンス 39-40 官庁研究 41-42 模擬面接準備（試験種Ⅴ） 43-45 模擬面接（試験種Ⅴ） 46-47 模擬面接準備（試験種Ⅵ） 48-50 模擬面接（試験種Ⅵ） 51-52 模擬面接準備（試験種Ⅶ） 53-55 模擬面接（試験種Ⅶ） 56-57 模擬面接準備（試験種Ⅷ） 58-60 模擬面接（試験種Ⅷ）
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢で評価
備考	授業実施順序は入替をすることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 適性試験練習１ 2 適性試験練習２ 3 適性試験練習３ 4 適性試験練習４ 5 適性試験練習５ 6 適性試験練習６ 7 適性試験練習７ 8 適性試験練習８ 9 適性試験練習９ 10 適性試験練習１０ 11 適性試験練習１１ 12 適性試験練習１２ 13 適性試験練習１３ 14 適性試験練習１４ 15 適性試験練習１５ 16 適性試験練習１６ 17 適性試験練習１７ 18 適性試験練習１８ 19 模擬試験（適性試験）１ 20 模擬試験（適性試験）２ 21 模擬試験（適性試験）３ 22 模擬試験（適性試験）４ 23 模擬試験（適性試験）５ 24 模擬試験（適性試験）６ 25 模擬試験（適性試験）７ 26 模擬試験（適性試験）８ 27 模擬試験（適性試験）９ 28 模擬試験（適性試験）１０ 29 模擬試験（適性試験）１１ 30 模擬試験（適性試験）１２
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実習
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	トレーニング関連の講義から得た知識を活かした実習を行う
授業の進め方	精通者による講義を受け、その後筋力トレーニング・ストレッチ運動・集団演技などの実習を行う
達成目標	トレーニングを通して、公安職に最低限必要な体力を養う。
教科書	なし
特記	
授業計画	1 公安職種の体力試験に関する研究 2 筋力トレーニング 3 筋力トレーニング 4 筋力トレーニング 5 筋力トレーニング 6 筋力トレーニング 7 筋力トレーニング 8 筋力トレーニング 9 集団演技１ 10 集団演技２ 11 集団演技３ 12 集団演技４ 13 集団演技５ 14 集団演技６ 15 集団演技７
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、出席状況によって評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習・実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ６０分
授業概要	実務経験のある講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、各自研究課題を作成し、実習にも参加する
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	元横浜消防教官鎌田氏および官公庁関係者による公務員職に関する研究
授業計画	1 消防職経験者講義１（消防官に求められる資質） 2 消防職経験者講義２（自助・共助・公助） 3 消防職経験者講義３（消防と我が人生） 4 官公庁実務者講義１ 5 官公庁実務者講義２ 6 官公庁実務者講義３ 7 官公庁実務者講義４ 8 研究レポート
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ６０分
授業概要	官公庁から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	国家公務員（公安職）の方による講義を基にした演習
授業計画	1 実務経験者における講義 2 レポート研究① 3 レポート研究② 4 レポート研究③ 5 実務経験者における講義 6 レポート研究④ 7 レポート研究⑤ 8 レポート研究⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ６０分
授業概要	地方行政に関する講義を行い、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	講義後、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	地方公務員職員（事務系）を招聘し、講義を行う場合がある
授業計画	1 地方公務員（事務系）に関する講義 2 地方公務員（事務系）に関する調査・レポート① 3 地方公務員（事務系）に関する調査・レポート② 4 グループワーク① 5 グループワーク② 6 グループワーク③ 7 グループワーク④ 8 振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ｖ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ６０分
授業概要	地方公務員（公安系）に関する講義を行い、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	講義後、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	地方公務員（公安系）職員を招聘し、講義を行う場合がある
授業計画	1 地方公務員（公安系）における講義① 2 レポート作成① 3 レポート作成② 4 レポート作成③ 5 地方公務員（公安系）における講義② 6 レポート作成④ 7 レポート作成⑤ 8 レポート作成⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公官庁講話
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める
授業の進め方	現役公務員の話を聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する
教科書	なし
特記	
授業計画	1 職種別ガイダンス１ 2 職種別ガイダンス２ 3 職種別ガイダンス３ 4 職種別ガイダンス４ 5 職種別ガイダンス５ 6 職種別ガイダンス６ 7 職種別ガイダンス７ 8 職種別ガイダンス８ 9 職種別ガイダンス９ 10 職種別ガイダンス１０
成績評価方法 （試験実施方法）	提出物の完成度・提出回数によって評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員倫理
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	演習
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ６０分
授業概要	
授業の進め方	講義をもとに、各自研究課題を作成する
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 公務員服務規程 2 公務員関連の法令研究１ 3 公務員関連の法令研究２ 4 公務員服務規程の研究１ 5 公務員服務規程の研究２ 6 レポート作成 7 レポート作成 8 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	提出レポートの完成度によって評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公共ボランティア実習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｄ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 ボランティアの基礎知識 2 自治体とボランティア 3 ボランティア実体験① 4 ボランティア実体験② 5 ボランティア実体験③ 6 ボランティア実体験④ 7 ボランティア実体験⑤ 8 ボランティア実体験⑥ 9 ボランティア実体験⑦ 10 ボランティア実体験⑧ 11 ボランティア実体験⑨ 12 ボランティア実体験⑩ 13 ボランティア実体験⑪ 14 ボランティア実体験⑫ 15 ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公共ボランティア実習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｄ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 ボランティアの基礎知識 2 自治体とボランティア 3 ボランティア実体験① 4 ボランティア実体験② 5 ボランティア実体験③ 6 ボランティア実体験④ 7 ボランティア実体験⑤ 8 ボランティア実体験⑥ 9 ボランティア実体験⑦ 10 ボランティア実体験⑧ 11 ボランティア実体験⑨ 12 ボランティア実体験⑩ 13 ボランティア実体験⑪ 14 ボランティア実体験⑫ 15 ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｄ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルを超えたスキルを身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ビジネスマナーの基礎知識 2 身だしなみと立ち居振る舞い 3 敬語とビジネス用語 4 応接・接遇のマナー 5 電話応対基礎編（講義） 6 電話応対基礎編（練習） 7 電話応対基礎編（実践練習） 8 電話応対応用編（講義） 9 電話応対応用編（練習） 10 電話応対応用編（実践練習） 11 伝言を含む電話応対（講義１） 12 伝言を含む電話応対（練習１） 13 伝言を含む電話応対（講義２） 14 伝言を含む電話応対（練習２） 15 伝言を含む電話応対（実践練習１） 16 伝言を含む電話応対（実践練習２） 17 効果測定準備 18 電話応対効果測定 19 冠婚葬祭のマナー 20 郵便のマナー 21 電話での道案内 22 クレーム対応 23-27 ビジネスマナー実務 28-30 ビジネスマナー総合
成績評価方法 （試験実施方法）	筆記試験および効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	授業順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｄ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会で求められる一般的なレベルのWORDとEXCEL等の操作方法を学ぶ
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルのPCスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 パソコンの基本操作１ 2 パソコンの基本操作２ 3 パソコンの基本操作３ 4 パソコンの基本操作４ 5 パソコンの基本操作５ 6 パソコンの基本操作６ 7 OS/OFFICEの基本（座学） 8 WORDの基本操作１ 9 WORDの基本操作２ 10 WORDの基本操作３ 11 WORD効果測定 12 EXCEL基本操作１ 13 EXCEL基本操作２ 14 EXCEL基本操作３ 15 EXCEL効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法律研究
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	法律に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ
授業の進め方	講義で与えられた課題を研究し、法律知識を習得する
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	トゥモロー法律事務所松本知朗弁護士による弁護士としての実践的知識を基にした講義と実習
授業計画	1 法律研究 2 法律研究 3 法律研究 4 法律研究 5 法律研究プレゼンテーション 6 法律概論（講義） 7 レポート作成 8 民法（講義） 9 レポート作成 10 憲法（講義） 11 レポート作成 12 行政法（講義） 13 レポート作成 14 刑法（講義） 15 レポート作成
成績評価方法 (試験実施方法)	研究成果をまとめたレポートの内容で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	行政研究
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｄ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究および発表を通じて防災への理解を深める
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	
授業計画	1 災害対策の枠組み（講義） 2 災害対策の実例（講義） 3 課題研究１ 4 課題研究２ 5 課題研究３ 6 課題研究４ 7 課題研究５ 8 課題研究６ 9 研究発表シナリオ作成１ 10 研究発表シナリオ作成２ 11 研究発表準備１ 12 研究発表準備２ 13 模擬プレゼンテーション 14 研究発表プレゼンテーション 15 研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 (試験実施方法)	プレゼンテーションの評価を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	共通選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身に付ける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定１級合格を目標とする
教科書	問題集、プリント、模擬試験
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名・熟語 2 同音異義・異字同訓 3 誤字訂正・類義語・反対語 4 漢字の意味・使い方 5 ことわざ・故事成語・慣用句① 6 ことわざ・故事成語・慣用句② 7 特殊な漢字の読み書き 8 項目別模擬試験① 9 項目別模擬試験② 10 効果測定 11 直前模擬試験① 12 直前模擬試験② 13 直前模擬試験③ 14 直前模擬試験④ 15 直前模擬試験⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験１００％　模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ｉ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	共通選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う
授業の進め方	テキストによる電卓基本操作の講義と問題演習
達成目標	電卓技能検定３級合格を目標とする
教科書	検定対策テキスト、問題集
特記	
授業計画	1 電卓の基礎知識 2 キー操作練習 3 加減算練習 4 見取算練習 5 乗除算練習 6 伝票算練習 7 電卓総合演習① 8 電卓総合演習② 9 電卓総合演習③ 10 電卓総合演習④ 11 電卓総合演習⑤ 12 電卓総合演習⑥ 13 電卓総合演習⑦ 14 電卓総合演習⑧ 15 電卓総合演習⑨
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験１００％　演習授業内における模擬問題の合格認定級で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	共通選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う
授業の進め方	初回レクチャー講義および問題集による問題演習
達成目標	電卓技能検定１級または２級合格を目標とする
教科書	検定対策問題集
特記	
授業計画	1 小数点以下の取り扱い諸注意 2 電卓実践演習① 3 電卓実践演習② 4 電卓実践演習③ 5 電卓実践演習④ 6 電卓実践演習⑤ 7 電卓実践演習⑥ 8 電卓実践演習⑦ 9 電卓実践演習⑧ 10 電卓実践演習⑨ 11 電卓実践演習⑩ 12 電卓実践演習⑪ 13 電卓実践演習⑫ 14 電卓実践演習⑬ 15 電卓実践演習⑭
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験１００％　演習授業内における模擬問題の合格認定級で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	共通選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ（１コマ１２０分）
授業概要	面接試験に向けての準備作業や集団・個人での実践練習を行う
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる
教科書	なし
特記	
授業計画	1 エントリーシート・面接カード作成① 2 エントリーシート・面接カード作成② 3 エントリーシート・面接カード作成③ 4 エントリーシート・面接カード作成④ 5 エントリーシート・面接カード作成⑤ 6 職種研究① 7 職種研究② 8 職種研究③ 9 職種研究④ 10 面接効果測定準備 11 上級面接効果測定 12 模擬面接準備 13 模擬面接① 14 模擬面接② 15 模擬面接③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定１００％　実技による効果測定で評価
備考	